

# 「ものづくり IT 人材育成のためのリスタートプログラム」

## の開発に関する調査研究 報告書

本報告書は、文部科学省の専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト事業による、委託業務として、学校法人穴吹学園 穴吹情報デザイン専門学校が実施した令和 2 年度「ものづくり IT 人材育成のためのリスタートプログラム開発に関する調査研究」の成果を取りまとめたものです。

2021 年 2 月 17 日

---

学校法人 穴吹学園  
穴吹情報デザイン専門学校

---



## 目 次

|       |                     |    |
|-------|---------------------|----|
| 1.    | 目的と概要               | 1  |
| 1.1   | 目的                  | 1  |
| 1.2   | 検討体制                | 1  |
| 1.3   | 2020 年度のスケジュール      | 1  |
| 2.    | 分析枠組み               | 2  |
| 2.1   | 目的                  | 2  |
| 2.2   | 分析枠組みの検討            | 2  |
| 2.2.1 | 調査対象                | 2  |
| 2.2.2 | 調査方法                | 2  |
| 2.2.3 | 調査件数                | 3  |
| 2.2.4 | 調査項目の仕様             | 3  |
| 2.2.5 | 調査機関                | 3  |
| 2.2.6 | 調査項目                | 3  |
| 3.    | 実態等に関するアンケート調査の実施結果 | 5  |
| 3.1   | 目的                  | 5  |
| 3.2   | 調査概要                | 5  |
| 3.2.1 | 調査法補                | 5  |
| 3.2.2 | 調査対象                | 5  |
| 3.2.3 | 調査実施期間              | 5  |
| 3.2.4 | アンケート配布・回収結果        | 6  |
| 3.2.5 | 標本誤差                | 6  |
| 3.2.6 | 調査項目                | 7  |
| 3.3   | 調査結果                | 8  |
| 3.3.1 | 回答事業所種別・所在地         | 8  |
| 3.3.2 | 正社員・非正規社員数          | 9  |
| 3.3.3 | 生産形態                | 10 |
| 3.3.4 | 工程管理方法              | 11 |
| 3.3.5 | 受注方法                | 12 |
| 3.3.6 | 正社員・非正規社員比          | 13 |
| 3.3.7 | 非正規社員の年齢            | 14 |
| 3.3.8 | 氷河期世代の求職者採用意向       | 15 |
| 3.3.9 | 人材課題状況              | 19 |

|        |                                        |    |
|--------|----------------------------------------|----|
| 3.3.10 | ＩＴ・ソフトの導入を進めている業務領域                    | 23 |
| 3.3.11 | ＩＴ・ソフトの導入効果                            | 27 |
| 3.3.12 | ＩＴの導入・利用を進める際に感じた課題                    | 31 |
| 3.3.13 | ＩＴ人材に望む「基礎能力」                          | 35 |
| 3.3.14 | ＩＴ人材に望む「技術力」                           | 39 |
| 4      | 実態等に関するヒアリング調査の実施結果                    | 43 |
| 4.1    | 目的                                     | 43 |
| 4.2    | ヒアリング調査概要                              | 43 |
| 4.2.1  | ヒアリング調査対象企業                            | 43 |
| 4.2.2  | ヒアリング調査実施期間                            | 43 |
| 4.2.3  | ヒアリング調査事業所と実施日時                        | 43 |
| 4.3    | ヒアリング調査結果                              | 44 |
| 4.3.1  | どのようなものづくりをされていますか。                    | 44 |
| 4.3.2  | 雇用者の正規職員、非正規職員の人数を<br>教えてください。         | 44 |
| 4.3.3  | 非正規社員の状況を教えてください。                      | 44 |
| 4.3.4  | 就職氷河期世代の雇用状況を教えてください。                  | 44 |
| 4.3.5  | 就職氷河期世代の採用条件などについて<br>教えてください。         | 45 |
| 4.3.6  | その他採用条件などについて教えてください。                  | 45 |
| 4.3.7  | 社員研修について教えてください。                       | 45 |
| 4.3.8  | 非正規社員のリカレント教育は可能かどうか<br>教えてください。       | 46 |
| 4.3.9  | 本事業で考えているリカレント教育科目について<br>ご感想をお聞かせ下さい。 | 46 |

## 表 目次

|       |                 |    |
|-------|-----------------|----|
| 表 1-1 | プログラム検討委員会の構成員  | 1  |
| 表 1-2 | 2020 年度スケジュール   | 1  |
| 表 3-1 | アンケート調査方法・対象等   | 5  |
| 表 3-2 | アンケート調査期間       | 5  |
| 表 3-3 | アンケート調査配布数      | 6  |
| 表 4-1 | ヒアリング調査企業       | 43 |
| 表 4-2 | アンケート調査期間       | 43 |
| 表 4-3 | ヒアリング調査事業所と実施日時 | 43 |

## 図 目次

|           |                                |    |
|-----------|--------------------------------|----|
| 図 3.3.1-1 | 回答事業所種別（複数選択・記入）（N=78）         | 8  |
| 図 3.3.1-2 | 回答事業所所在地（N=78）                 | 9  |
| 図 3.3.2-1 | 正社員・非正規社員数（数値記入）               | 9  |
| 図 3.3.2-2 | 正社員規模別企業数（数値記入）（N=77（NA1））     | 9  |
| 図 3.3.3-1 | 生産形態：全体（択一）（N=72（NA6））         | 10 |
| 図 3.3.3-2 | 生産形態・正社員規模別（択一）                | 10 |
| 図 3.3.4-1 | 工程管理方法・全体（択一）（N=76（NA2））       | 11 |
| 図 3.3.4-2 | 工程管理方法・正社員規模別（択一）              | 11 |
| 図 3.3.5-1 | 受注方法・全体（択一）（N=77（NA1））         | 12 |
| 図 3.3.5-2 | 受注方法・正社員規模別（択一）                | 12 |
| 図 3.3.6-1 | （再掲）正社員非正規社員数・全体（数値記入）         | 13 |
| 図 3.3.6-2 | 正社員非正規社員数・正社員規模別（数値記入）         | 13 |
| 図 3.3.7-1 | 非正規社員数の年齢・全体（数値記入）             | 14 |
| 図 3.3.7-2 | 非正規社員の年齢・正規社員規模別（数値記入）         | 14 |
| 図 3.3.8-1 | 氷河期世代の求職者採用意向・全体（択一）           | 15 |
| 図 3.3.8-2 | 氷河期世代の求職者採用意向・正社員 19 人以下（択一）   | 16 |
| 図 3.3.8-3 | 氷河期世代の求職者採用意向・正社員 20～39 人（択一）  | 17 |
| 図 3.3.8-4 | 氷河期世代の求職者採用意向・正社員 40～299 人（択一） | 18 |
| 図 3.3.9-1 | 人材課題状況・全体（複数選択）                | 19 |
| 図 3.3.9-2 | 人材課題状況・正社員数 19 人以下（複数選択）       | 20 |

|            |                                     |    |
|------------|-------------------------------------|----|
| 図 3.3.9-3  | 人材課題状況・正社員 20～39 人（複数選択）            | 21 |
| 図 3.3.9-4  | 人材課題状況・正社員数 40～299 人（複数選択）          | 22 |
| 図 3.3.10-1 | IT 導入業務領域・全体（択一）                    | 23 |
| 図 3.3.10-2 | IT 導入業務領域・正社員 19 人以下（択一）            | 24 |
| 図 3.3.10-3 | IT 導入業務領域・正社員 20～39 人（択一）           | 25 |
| 図 3.3.10-4 | IT 導入業務領域・正社員 40～299 人（択一）          | 26 |
| 図 3.3.11-1 | IT 導入効果・全体（択一）                      | 27 |
| 図 3.3.11-2 | IT 導入効果・19 人以下（択一）                  | 28 |
| 図 3.3.11-3 | IT 導入効果・正社員 20～39 人（択一）             | 29 |
| 図 3.3.11-4 | IT 導入効果・正社員 40～299 人（択一）            | 30 |
| 図 3.3.12-1 | IT 導入時の課題の有無・全体（択一）                 | 31 |
| 図 3.3.12-2 | IT 導入時に感じた課題・全体（複数選択）               | 31 |
| 図 3.3.12-3 | IT 導入時の課題の有無・正社員 19 人以下（択一）         | 32 |
| 図 3.3.12-4 | IT 導入時に感じた課題・正社員 19 人以下（複数選択）       | 32 |
| 図 3.3.12-5 | IT 導入時の課題の有無・正社員 20～39 人（択一）        | 33 |
| 図 3.3.12-6 | IT 導入時に感じた課題・正社員 20～39 人（複数選択）      | 33 |
| 図 3.3.12-7 | IT 導入時の課題の有無・正社員 40～299 人（択一）       | 34 |
| 図 3.3.12-8 | IT 導入時に感じた課題・正社員 40～299 人<br>（複数選択） | 34 |
| 図 3.3.13-1 | IT 人材に望む基礎能力・全体（複数選択）               | 35 |
| 図 3.3.13-2 | IT 人材に望む基礎能力・正社員 19 人以下（複数選択）       | 36 |
| 図 3.3.13-3 | IT 人材に望む基礎能力・正社員 20～39 人（複数選択）      | 37 |
| 図 3.3.13-4 | IT 人材に望む基礎能力・正社員 40～299 人<br>（複数選択） | 38 |
| 図 3.3.14-1 | IT 人材に望む技術力・全体（複数選択）                | 39 |
| 図 3.3.14-2 | IT 人材に望む技術力・正社員 19 人以下（複数選択）        | 40 |
| 図 3.3.14-3 | IT 人材に望む技術力・正社員 20～39 人（複数選択）       | 41 |
| 図 3.3.14-4 | IT 人材に望む技術力・正社員 40～299 人（複数選択）      | 42 |

## 資料 目次

|    |           |    |
|----|-----------|----|
| 資料 | アンケート調査紙  | 47 |
| 資料 | アンケート集計結果 | 51 |
| 資料 | ヒアリング票    | 59 |

## 1. 目的と概要

### 1.1 目的

備後地域のものづくり企業の調査を行い実態と課題を分析し、課題解決に向けた人材像を検討する。

### 1.2 検討体制

有識者から構成される「短期リカレント教育プログラム人材養成委員会」（以降、人材育成委員会）を組織して検討を行う。

（順不同・敬称略）

| 氏名 |        | 所属・職名                              | 役割等 | 都道府県 |
|----|--------|------------------------------------|-----|------|
| 1  | 伊藤 慎二郎 | 学校法人穴吹学園 高松校 統括副校長                 | 委員長 | 香川県  |
| 2  | 北原 聡   | 学校法人麻生塾 麻生情報ビジネス専門学校<br>校長         | 委員  | 福岡県  |
| 3  | 古澤 友祥  | 中国職業能力開発大学校附属福山職業能力開発短期大学校 学務援助 課長 | 委員  | 広島県  |
| 4  | 仙倉 真行  | 株式会社 キャステム 上席課長                    | 委員  | 広島県  |
| 5  | 小笠原 清人 | アドバンスシステム株式会社 取締役                  | 委員  | 広島県  |
| 6  | 住井 雄二  | 公益財団法人 ひろしま産業振興機構<br>センター長         | 委員  | 広島県  |
| 7  | 藤井 良朗  | 広島県東部機械金属工業協同組合 事務局長               | 委員  | 広島県  |
| 8  | 前田 靖   | 広島県商工労働部東部産業支援担当次長(兼)政策監           | 委員  | 広島県  |
| 9  | 村上 美由紀 | 福山市経済環境局 経済部 産業振興課<br>雇用労働担当 課長    | 委員  | 広島県  |
| 10 | 善浪 悟   | 福山公共職業安定所 業務部長                     | 委員  | 広島県  |

表 1-1 プログラム検討委員会の構成員

## 1.3 2020 年度のスケジュール

| 時期    | 委員会開催 他   | アンケート調査    | ヒアリング調査    |
|-------|-----------|------------|------------|
| 9 月   | 委員依頼・委員就任 |            |            |
| 10 月  | 第 1 回委員会  | アンケート調査票作成 |            |
| 11 月  |           | アンケート発送    |            |
| 12 月  |           | アンケート返送締切  | ヒアリング調査    |
| 1 月   |           | アンケート調査報告書 | ヒアリング調査報告書 |
| 2 月   | 第 2 回委員会  | 委員会で調査報告   | 委員会で調査報告   |
| 3 月   |           |            |            |
| 3 月中旬 | 年度報告書完成   |            |            |

表 1-2 2020 年度スケジュール



## 2. 分析枠組み

### 2.1 目的

教育カリキュラム・プログラム開発に反映させるために必要な、業界実態や課題調査項目の検討を行う。

### 2.2 分析枠組みの検討

#### 2.2.1 調査対象：備後地域の製造業 490 社程度

検討委員会は、以下の対象が妥当であるとした。

- ・調査対象を備後地区（福山・府中・尾道・笠岡・井原の5市）に絞りこみ地域の特性を捉える。
- ・企業規模は中小企業に絞る。ただし、5 名以下の小企業は除く。
- ・地域の特性を捉えるため、特化係数に基づいた（特化係数の値の高い）業種の選択を優先する。

（参考）

備後地区製造業事業所数 1996、従業員数 72,500 人、出荷額 2 兆 9603 億円  
[REASAS：2017 年]

広島県製造表事業所数 4688（15 位）、従業員数 22 万人（10 位）、出荷額 10 兆円（11 位）[2019 年経済コンサス]

従業員数構成比：食料品・生産機械（12%）、輸送機械（11%）、プラスチック・鉄鋼（9%）、繊維・汎用機械（7%）

事業所数構成比：繊維（14%）、金属・生産機械（13%）、食料品・輸送機械（9%）

出荷額構成比：鉄鋼（31%）、プラスチック（13%）、食料品（9%）、生産機械・輸送機械（8%）、汎用機械（6%）

特化係数：鉄鋼（5.51）、プラ（3.34）、繊維（2.53）、木材製品（1.66）、汎用機械（1.56）、生産機械（1.21）

#### 2.2.2 調査方法：調査紙法（郵送・web 併用）

検討委員会は、郵送・web 併用で行うことを要請した。

## 2.2.3 調査件数：490 件程度

検討委員会は、490 件程度で標本調査を行うことが妥当であるとした。

信頼区間 95%、標本誤差 10%、母集団サイズ 2000 とする  
次式に当てはめて標本サイズを算出した。

$$n = \frac{N}{\left(\frac{e}{1.96}\right)^2 \frac{N-1}{\rho(1-\rho)} + 1}$$

$[N=2000, e=0.1, \rho=0.5]$

$n=49$

想定有効回答率 10%とすると、490 の標本サイズが必要。

2.2.4 調査項目の仕様：質問用紙はA4 2枚（裏表4ページ）、回答所要時間 6 分程度  
（記述回答以外）

検討委員会は、有効回答率 10%を達成するために、回答所要時間を 6 分程度  
に抑え、回答所要時間を 10 分以内と明記することが妥当であるとした。

## 2.2.5 調査期間

検討委員会は、2020 年 11 月～2020 年 12 月の 2 週間を調査期間とした。

## 2.2.6 調査項目

検討委員会に、以下の素案を提示して検討した。

事業所の基本情報（所在地・名称・事業所中分類）  
I T 活用状況（活用分野とソフト・導入機器）  
I T 人材状況（担当者の有無・I T 人材の効果）  
I T 人材に望む能力（求めるスキル・能力）  
人材育成への取組（研修・資格支援など）

その結果、

- ・就職氷河期世代の就業状況（正規・非正規社員の人数と非正規社員の年齢）
- ・就職氷河期世代の雇用意向
- ・就職氷河期世代が雇用されるために必要なカリキュラムをストレートに調査する

- ・間接部門のＩＴ状況ではなく、ものづくり現場のＩＴ・ＩＯＴ状況を調査する
- ・人材の不足部門

を調査項目に入れるとした。

事業所の基本情報（所在地・名称・事業所中分類・生産形態分類）

雇用者状況（正規・非正規社員人数、非正規社員の年齢区分）

人材確保状況（部門別人材確保の課題ひっ迫度）

就職氷河期世代の雇用意向

ＩＴ活用状況（現場の見える化・情報化状況・導入領域・導入課題）

ＩＴ人材に望む能力（基礎能力・技術力）

### 3. 実態等に関するアンケート調査の実施結果

#### 3.1 目的

備後地域のものづくり企業の調査を行い実態と課題を定量的に明らかにし、育成プログラム開発の基礎とする。

#### 3.2 調査概要

##### 3.2.1 調査方法

調査方法を以下の表に示す。

|         | 調査方法        | 調査対象 | 調査数     | 目標回答率 |
|---------|-------------|------|---------|-------|
| 備後地区製造業 | 質問紙法（郵送調査法） | 製造業  | 493 事業所 | 15%   |

表 3-1 アンケート調査方法・対象等

##### 3.2.2 調査対象

調査対象を備後地区（福山・府中・尾道・笠岡・井原の5市）に絞りこみ地域の特性を捉えることとした。備後地区製造業事業所数 1996、従業員数 72,500 人、出荷額 2 兆 9603 億円 [REASAS：2017 年]のうち、地域の特性を表す特化係数の高い業種を中心に所属する業界団体リストを基に調査をおこなった。（備後地区製造業特化係数：鉄鋼（5.51）、プラ（3.34）、繊維（2.53）、木材製品（1.66）、汎用機械（1.56）、生産機械（1.21））

なお、①検討委員が備後地域の特性や課題を把握していること、②人材育成プログラム開発に有効な情報を得ることができる協力企業が存在すること、教育プログラムを実証する際募集協力を得やすいことが、備後地区を調査対象とした理由として挙げられる。

介護専門職養成校については、全国的な実態を把握するため対象を全国とした。

##### 3.2.3 調査実施期間

調査実施期間を以下に示す。

|         | 調査期間・調査日                       |
|---------|--------------------------------|
| アンケート調査 | 令和2年 11 月 4 日 ～ 令和2年 11 月 24 日 |

表 3-2 アンケート調査期間

### 3.2.4 アンケート配布・回収結果

アンケート配布・回収数を以下に示す。

| 調査種別  | 配布数 | 回収数 | 回収率   |
|-------|-----|-----|-------|
| 事業所調査 | 493 | 78  | 15.8% |

表 3-3 アンケート調査配布数

### 3.2.5 標本誤差

次式に当てはめて標本誤差を算出した

$$\text{標本誤差} = k \sqrt{\frac{p(1-p)(M-n)}{n(M-1)}}$$

k=1.96（信頼区間 95%）、M=2000、n=78 p=0.158

信頼区間 95%、標本誤差は 7.9%になった。

### 3.2.6 調査項目

以下の調査項目を設定した（調査票は参考資料参照）。

#### （1）事業所基本情報

- 基本事項（所在地・名称・事業所種類）
- 生産形態（少品種大量・多品種少量・個別・ロット）
- 生産進捗状況の見える化（リアルモニター・翌日モニター・ミーティングで確認・工場の巡視・その他）
- 取引先との受注情報（メール・FAX・TEL・営業訪問・EC・その他）

#### （2）事業所雇用者情報

- 社員数（正規社員・非正規社員）
- 非正規社員の年齢区分
- 就職氷河期世代の採用意向
- 人材確保状況（経営・技能・期間工・設計・研究・IT・企画・営業・その他）

#### （3）IT導入と人材状況

- IT導入業務（財務・人事労務・販売顧客・在庫管理・生産管理・受発注・その他）
- IT導入時の課題
- IT人材に望む基礎能力（コミュ・論理的・協調性・積極性・リーダー・発想力・スピード感・ストレス・部下育成・柔軟性・その他）
- IT人材に望む技術力

### 3.3 調査結果

以下にアンケート調査結果を示す。調査に使用した質問紙は資料1として掲載する。なお、調査項目が多数にのぼるため、すべての集計結果は、資料2「ものづくりIT人材育成のためのリスタートプログラム」の開発に関する調査研究に掲載し、ここには全体的な傾向及び特徴的な事項に絞って記載する。

#### 3.3.1 回答事業所種別・所在地

- 回答事業所は33.3%が金属製品製造業、11.5%がその他の製造業だった。
- 回答事業者数は、福山市53、府中市13、尾道市10、笠岡市2、井原市0だった。

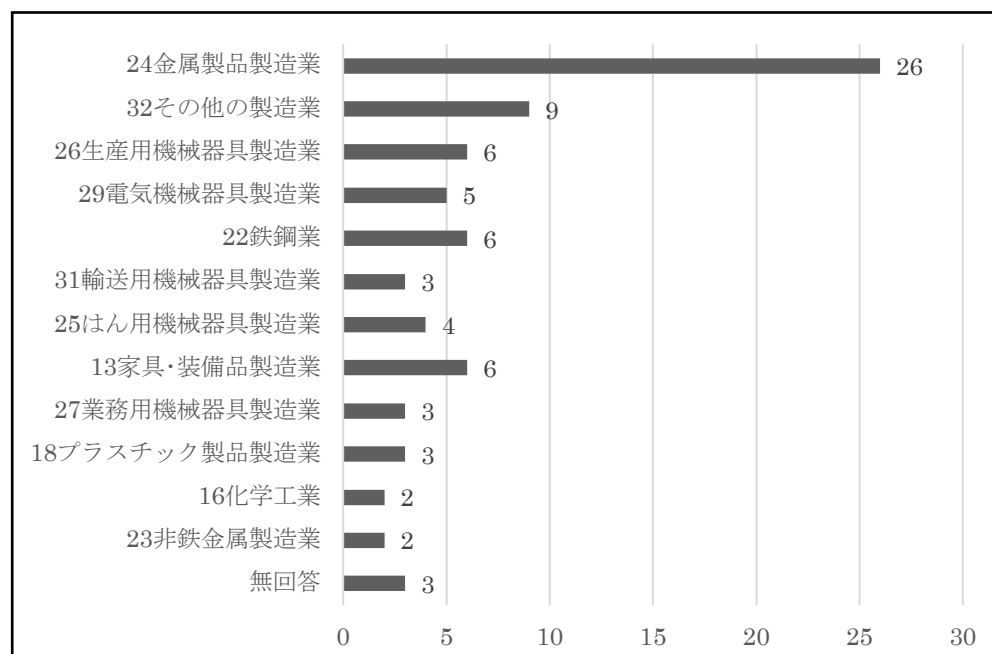


図 3.3.1-1 回答事業所種別（複数選択・記入）（N=78）

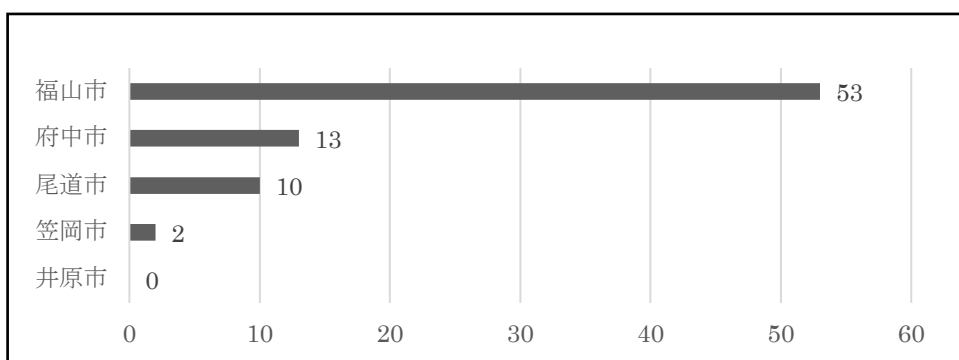


図 3.3.1-2 回答事業所所在地 (N=78)

### 3.3.2 正社員・非正規社員数

- 全体の正社員数は4835人(構成比88.4%)非正規社員数は633人(構成比11.6%)だった。

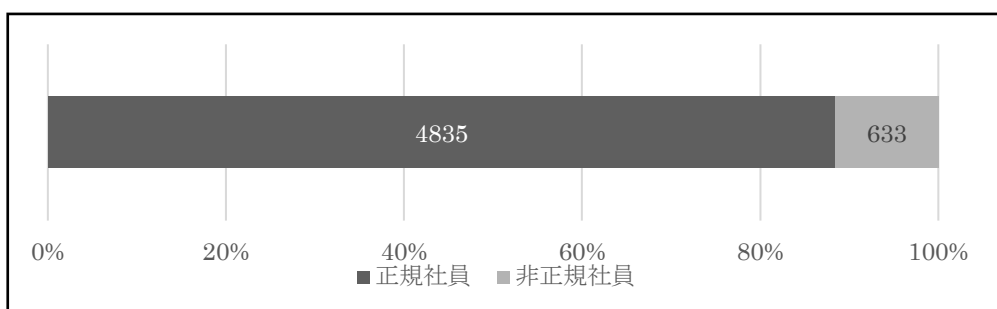


図 3.3.2-1 正社員・非正規社員数 (数値記入)

- 正社員数の規模は300人以上が3社(構成比3.9%)、40人以上299人以下が12社(同20.8%)、20人以上39人以下が18社(同35.1%)、19人以下が20社(同40.3%)だった。

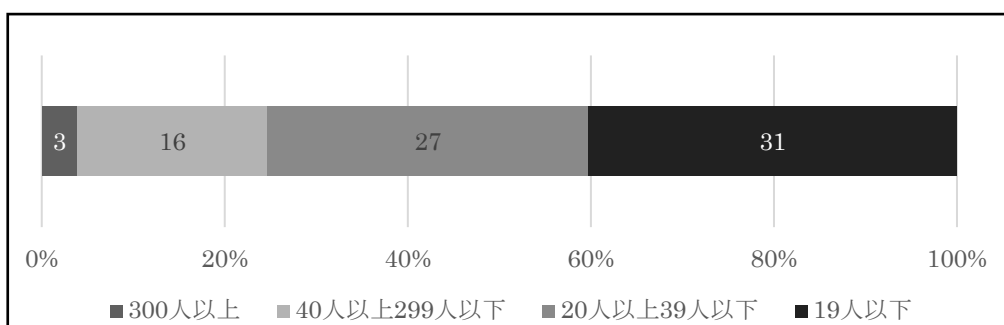


図 3.3.2-2 正社員規模別企業数 (数値記入) (N=77 (NA1))



### 3.3.3 生産形態

- 全体では、53.1%が多品種少量生産、36.7%が個別生産だった。

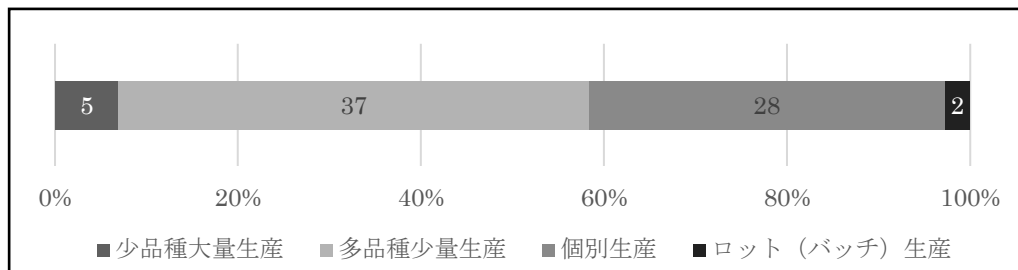


図 3.3.3-1 生産形態：全体（択一）（N=72（NA6））

- 19人以下は、44.8%が多品種少量生産および個別生産だった。（N=29（NA2））
- 20人以上39人以下は、59.3%が多品種少量生産、33.3%が個別生産だった。（N=27）
- 40人以上299人以下は、44.4%が多品種少量生産および個別生産だった。（N=9（NA7））

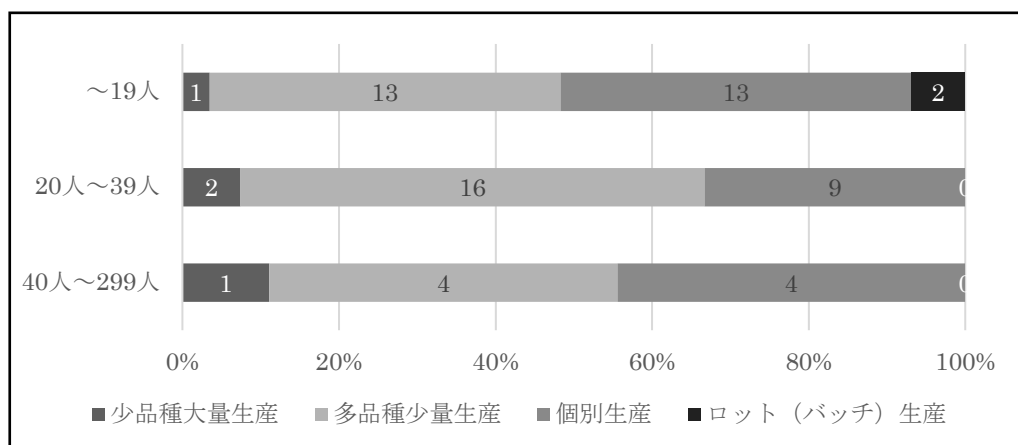


図 3.3.3-2 生産形態・正社員規模別（択一）

### 3.3.4 工程管理方法

- 全体では、30.3%が工場の巡視で把握、27.6%がミーティングで確認、15.8%がリアルタイムのモニター画面だった。

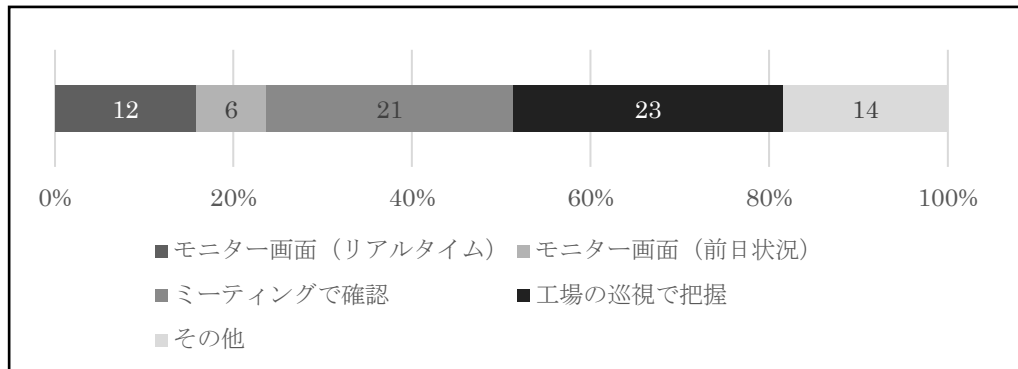


図 3.3.4-1 工程管理方法・全体（択一）（N=76（NA2））

- 19人以下は、56.7%が工場の巡視、13.3%がミーティングで確認だった。（N=30（NA1））
- 20人以上39人以下は、48.1%がミーティングで確認、18.5%が工場の巡視およびリアルタイムのモニター画面だった。（N=27）
- 40人以上299人以下は、26.6%がリアルタイムのモニター画面およびミーティングで確認だった。（N=15（NA1））

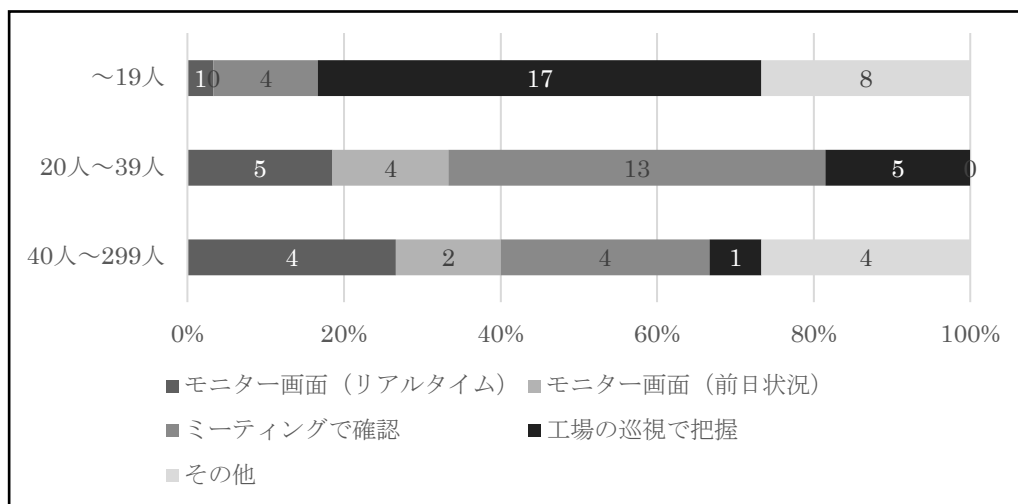


図 3.3.4-2 工程管理方法・正社員規模別（択一）

## 3.3.5 受注方法

- 全体では、53.2%がメールアドレスの授受、27.3%がFAXだった。

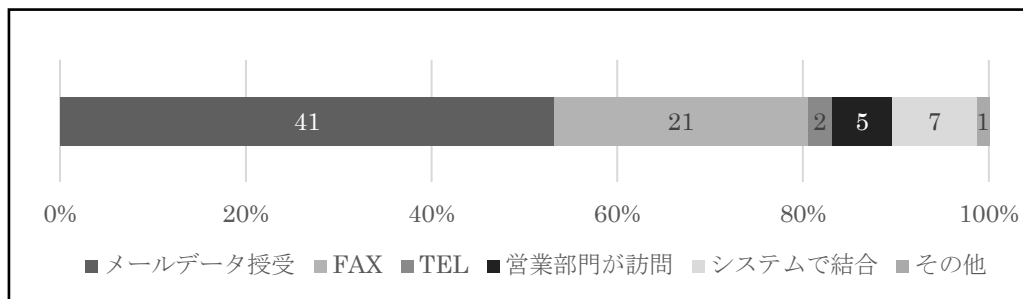


図 3.3.5-1 受注方法・全体（択一）（N=77（NA1））

- 19人以下は、54.8%がメールアドレスの授受、32.3%がFAXだった。（N=31）
- 20人以上39人以下は、48.1%がTEL、18.5%が営業部門訪問およびメールアドレスの授受だった。（N=27）
- 40人以上299人以下は、33.3%がメールアドレスの授受、26.7%がシステムで結合、20.0%がFAXだった。（N=15（NA1））

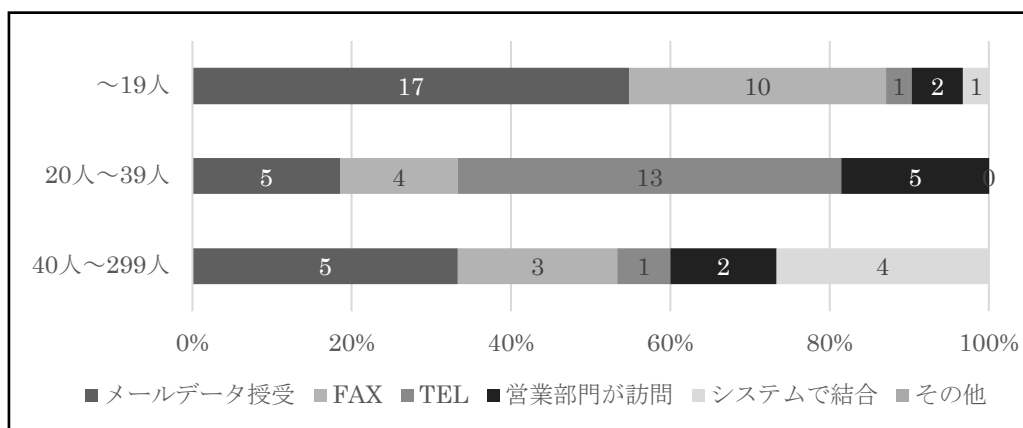


図 3.3.5-2 受注方法・正社員規模別（択一）

### 3.3.6 正社員・非正規社員比

- 全体の正社員数は4835人(構成比88.4%)非正規社員数は633人(構成比11.6%)だった。(再掲)

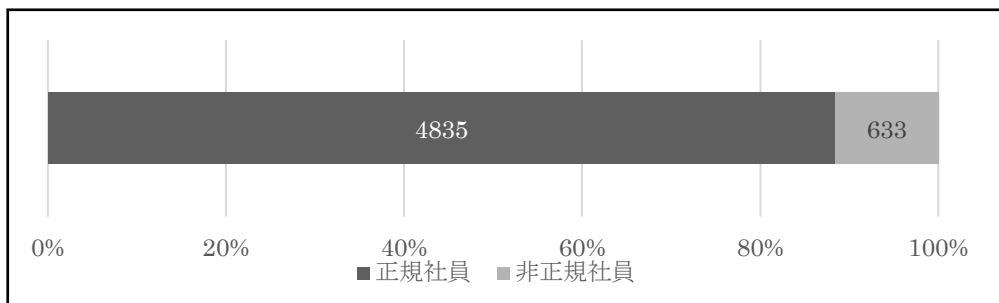


図 3.3.6-1 (再掲) 正社員非正規社員数・全体(数値記入)

- 19人以下は、80.2%が正社員、19.8%が非正規社員だった。(N=31)
- 20人以上39人以下は、90.8%が正社員、9.2%が非正規社員だった。(N=27)
- 40人以上299人以下は、90.4%が正社員、9.6%が非正規社員だった。(N=16)

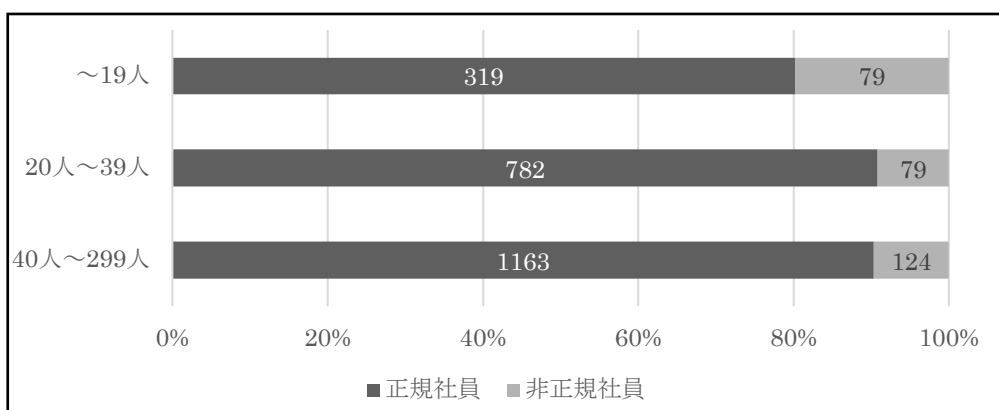


図 3.3.6-2 正社員非正規社員数・正社員規模別(数値記入)

### 3.3.7 非正規社員の年齢

- 年齢層の回答があったものについて、33.4%が65歳以上、24.6%が50歳～64歳、20.9%が20歳から34歳、20.4%が35歳～49歳だった。

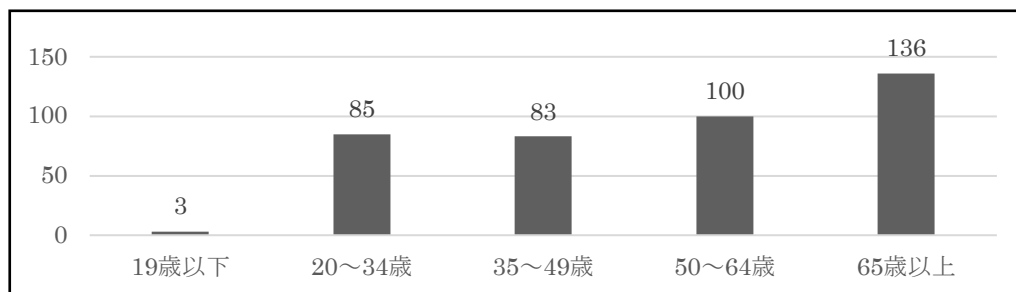


図 3.3.7-1 非正規社員数の年齢・全体（数値記入）

- 19人以下は、51.4%が65歳以上、36.5%が50歳～64歳だった。
- 20人以上39人以下は、41.4%が50歳～64歳、27.6%が20歳～34歳だった。
- 40人以上299人以下は、36.4%が65歳以上、29.9%が20歳～34歳だった。

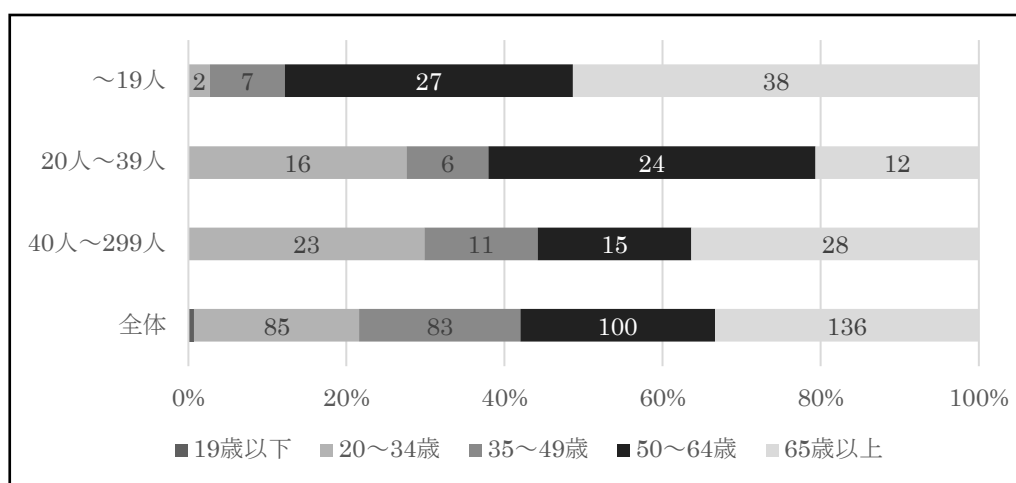


図 3.3.7-2 非正規社員の年齢・正規社員規模別（数値記入）

### 3.3.8 氷河期世代の求職者採用意向

#### <全体>

- 全体について、無職期間が長い求職者の採用に関して 83.6%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、「可能性がある」とした企業は 16.4%だった。
- 全体について、非正規社員期間が長い求職者の採用に関して 28.1%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、51.6%の企業が「可能性がある」とした。「大いに可能性がある」と答えた企業は 20.3%だった。
- 全体について、正規社員期間が長い求職者の採用に関して 14.9%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、49.3%の企業が「大いに可能性がある」とした。「可能性がある」と答えた企業は 35.8%だった。

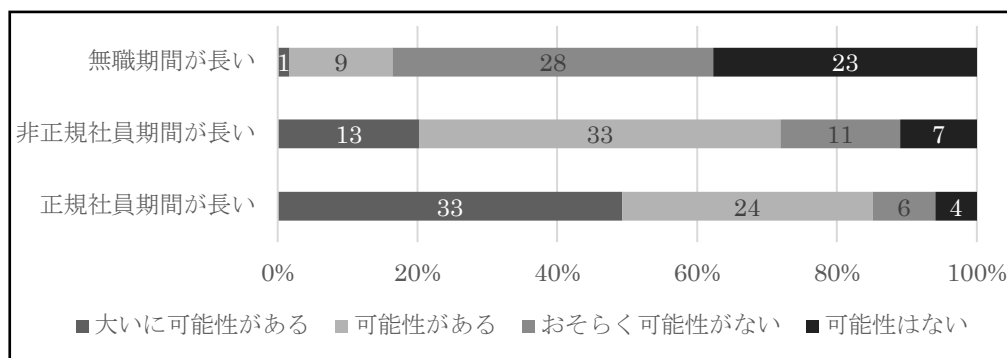


図 3.3.8-1 氷河期世代の求職者採用意向・全体（択一）

### ＜従業員19人以下＞

- 19人以下について、無職期間が長い求職者の採用に関して83.3%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、「可能性はあるおよび大いに可能性はある」とした企業は16.7%だった。
- 19人以下について、非正規社員期間が長い求職者の採用に関して25.0%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、75.0%の企業が「大いに可能性はあるおよび可能性はある」と答えた。
- 19人以下について、正規社員期間が長い求職者の採用に関して14.8%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、55.6%の企業が「大いに可能性はある」とした。「可能性はある」と答えた企業は29.6%だった。

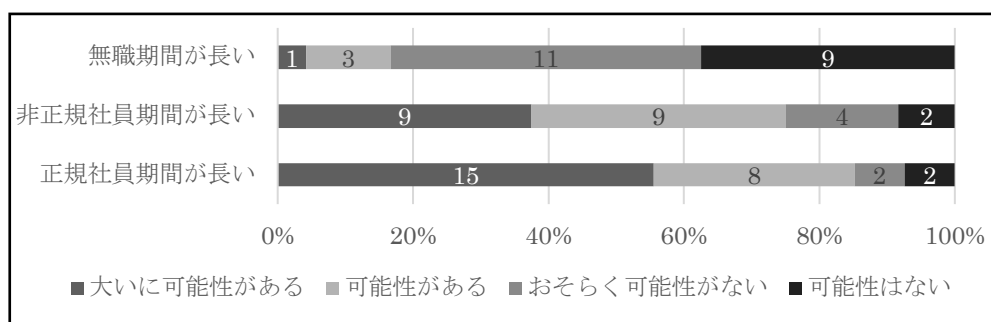


図 3.3.8-2 氷河期世代の求職者採用意向・正社員19人以下（折一）

### ＜従業員 20 人以上 39 人以下＞

- 20 人以上 39 人以下について、無職期間が長い求職者の採用に関して 80.0%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、「可能性がある」とした企業は 20.0%だった。
- 20 人以上 39 人以下について、非正規社員期間が長い求職者の採用に関して 17.4%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、65.2%の企業が「可能性がある」とした。「大いに可能性がある」と答えた企業は 17.4%だった。
- 20 人以上 39 人以下について、正規社員期間が長い求職者の採用に関して 4.5%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、47.8%の企業が「可能性がある」とし、「大いに可能性がある」とした。

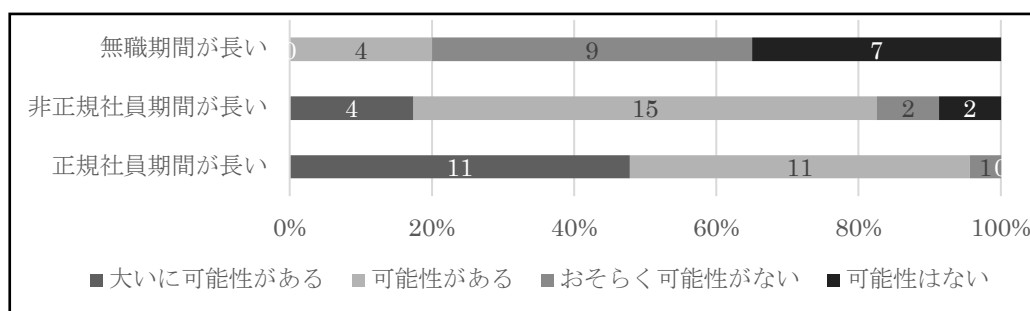


図 3.3.8-3 氷河期世代の求職者採用意向・正社員 20～39 人（択一）



### ＜従業員 40 人以上 299 人以下＞

- 40 人以上 299 人以下について、無職期間が長い求職者の採用に関して 92.3%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、「可能性がある」とした企業は 7.7%だった。
- 40 人以上 299 人以下について、非正規社員期間が長い求職者の採用に関して 46.2%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、53.8%の企業が「可能性がある」とした。「大いに可能性がある」と答えた企業は 0 だった。
- 40 人以上 299 人以下について、正規社員期間が長い求職者の採用に関して 23.1%の企業が、「おそらく可能性がないおよび可能性はない」とし、46.2%の企業が「大いに可能性がある」とした。「可能性がある」と答えた企業は 30.7%だった。

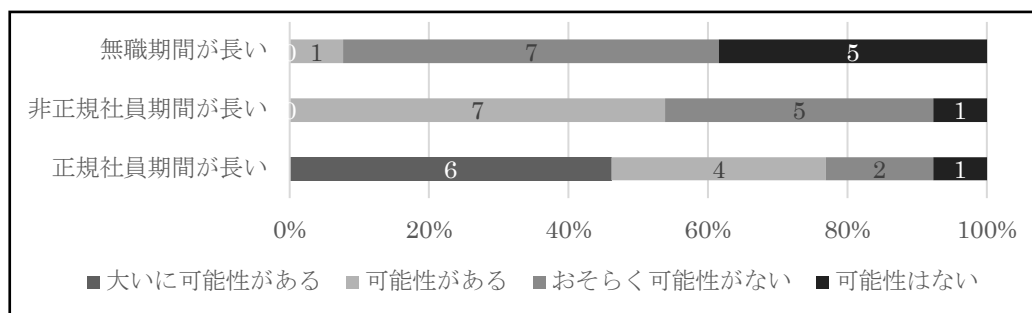


図 3.3.8-4 氷河期世代の求職者採用意向・正社員 40～299 人の企業（択一）

## 3.3.9 人材課題状況

## &lt;全体&gt;

- 全体について、「大きな課題ですすでに影響がある」人材として 36.2%の企業が「技能人材」、21.9%の企業が「営業・アフターサービス人材」を挙げた。次いで、20.6%の企業が「経営人材」、19.1%の企業が「設計技術者」を挙げた。
- 全体について、「課題ではあるがまだ影響がでるほどでもない」人材として、43.5%の企業が「技能人材」、37.5%の企業が「営業・アフターサービス人材」を挙げた。
- 全体について、「課題はない」人材として、89.1%の企業が期間工、56.7%の企業が研究開発人材を挙げた。

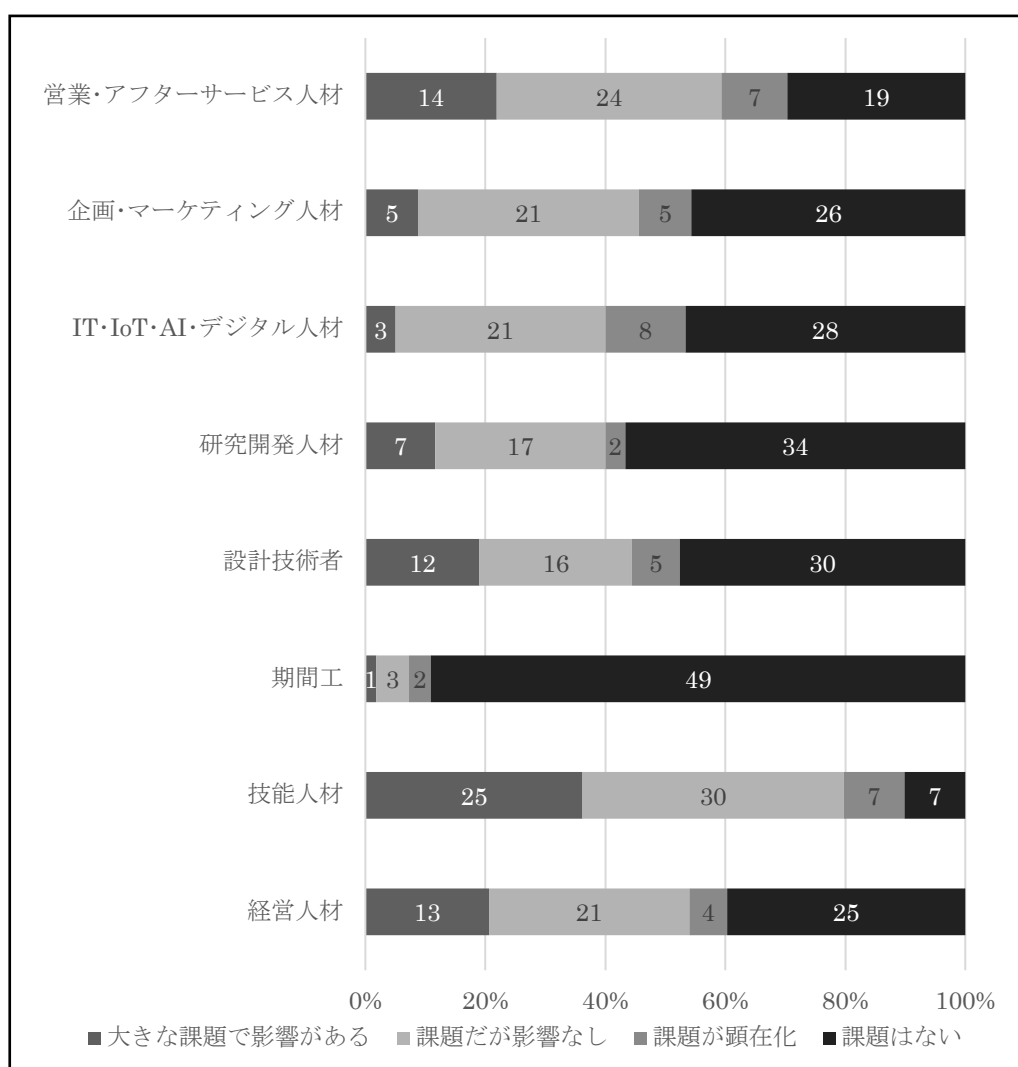


図 3.3.9-1 人材課題状況・全体（複数選択）

## ＜19人以下＞

- 19人以下について、「大きな課題ですすでに影響がある」人材として28.6%の企業が「技能人材」、21.7%の企業が「営業・アフターサービス人材」、19.2%の企業が「経営人材」を挙げた。
- 19人以下について、「課題ではあるがまだ影響がでるほどでもない」人材として、46.4%の企業が「技能人材」、34.8%の企業が「IT・IoT・AI・デジタル人材」を挙げた。
- 19人以下について、「課題はない」人材として、81.8%の企業が「期間工」、73.9%の企業が研究開発人材、62.5%の企業が「設計技術者」を挙げた。

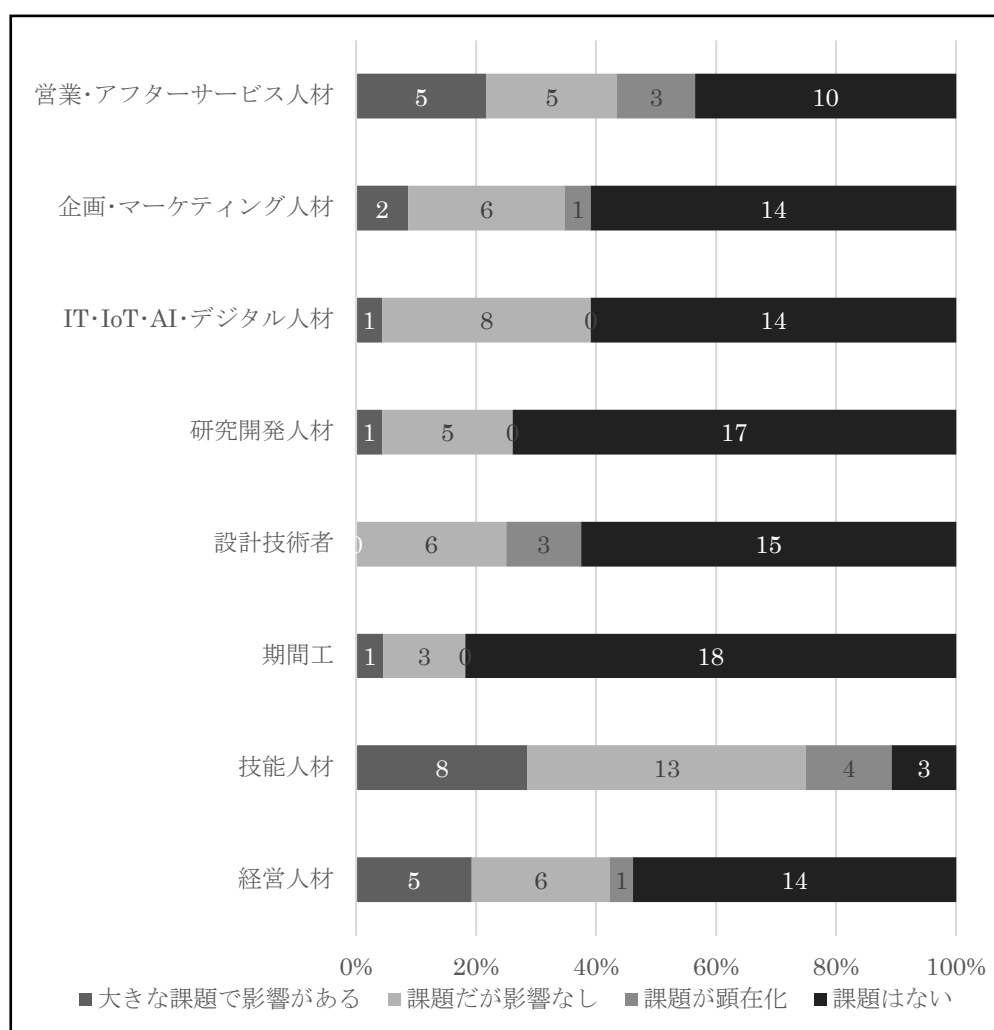


図 3.3.9-2 人材課題状況・正社員19人以下（複数選択）

## ＜20人以上 39人以下＞

- 20人以上 39人以下について、「大きな課題ですすでに影響がある」人材として43.5%の企業が「技能人材」、30.0%の企業が「設計技術者」、27.3%の企業が「営業・アフターサービス人材」を挙げた。
- 20人以上 39人以下について、「課題ではあるがまだ影響がでるほどでもない」人材として、60.0%の企業が「経営人材」、50.0%の企業が「営業・アフターサービス人材」、43.5%の企業が「技能人材」を挙げた。
- 20人以上 39人以下について、「課題はない」人材として、88.2%の企業が「期間工」、50.0%の企業が「設計技術者」、42.9%の企業が「研究開発人材」を挙げた。

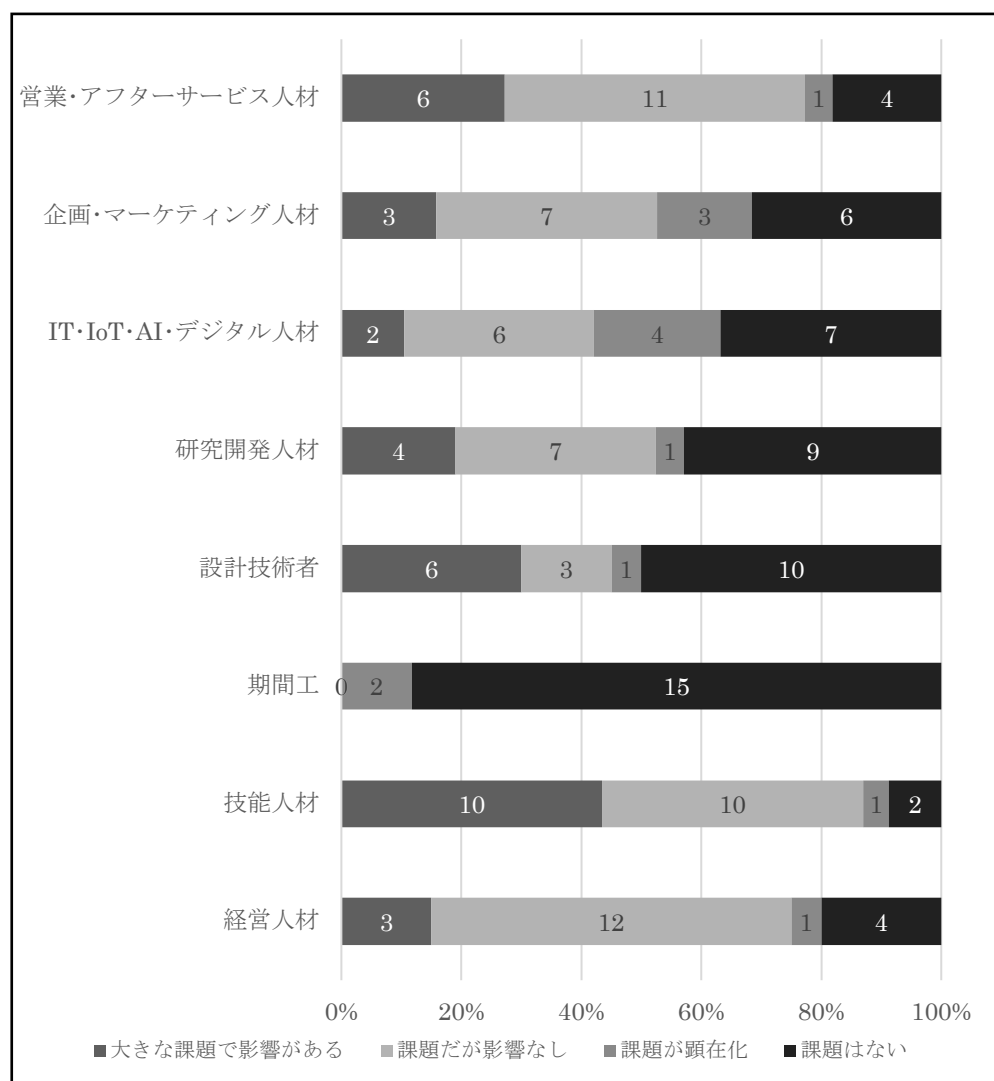


図 3.3.9-3 人材課題状況・正社員 20～39 人（複数選択）

## ＜40人以上 299人以下＞

- 40人以上 299人以下について、「大きな課題ですすでに影響がある」人材として50.0%の企業が「技能人材」、40.0%の企業が「設計技術者」、38.5%の企業が「経営人材」を挙げた。
- 40人以上 299人以下について、「課題ではあるがまだ影響がでるほどでもない」人材として、54.5%の企業が「企画・マーケティング人材」、46.7%の企業が「営業・アフターサービス人材」、42.9%の企業が「IT・IoT・AI・デジタル人材」および「技能人材」を挙げた。
- 40人以上 299人以下について、「課題はない」人材として、100.0%の企業が「期間工」、58.3%の企業が「研究開発人材」、38.5%の企業が「経営人材」を挙げた。

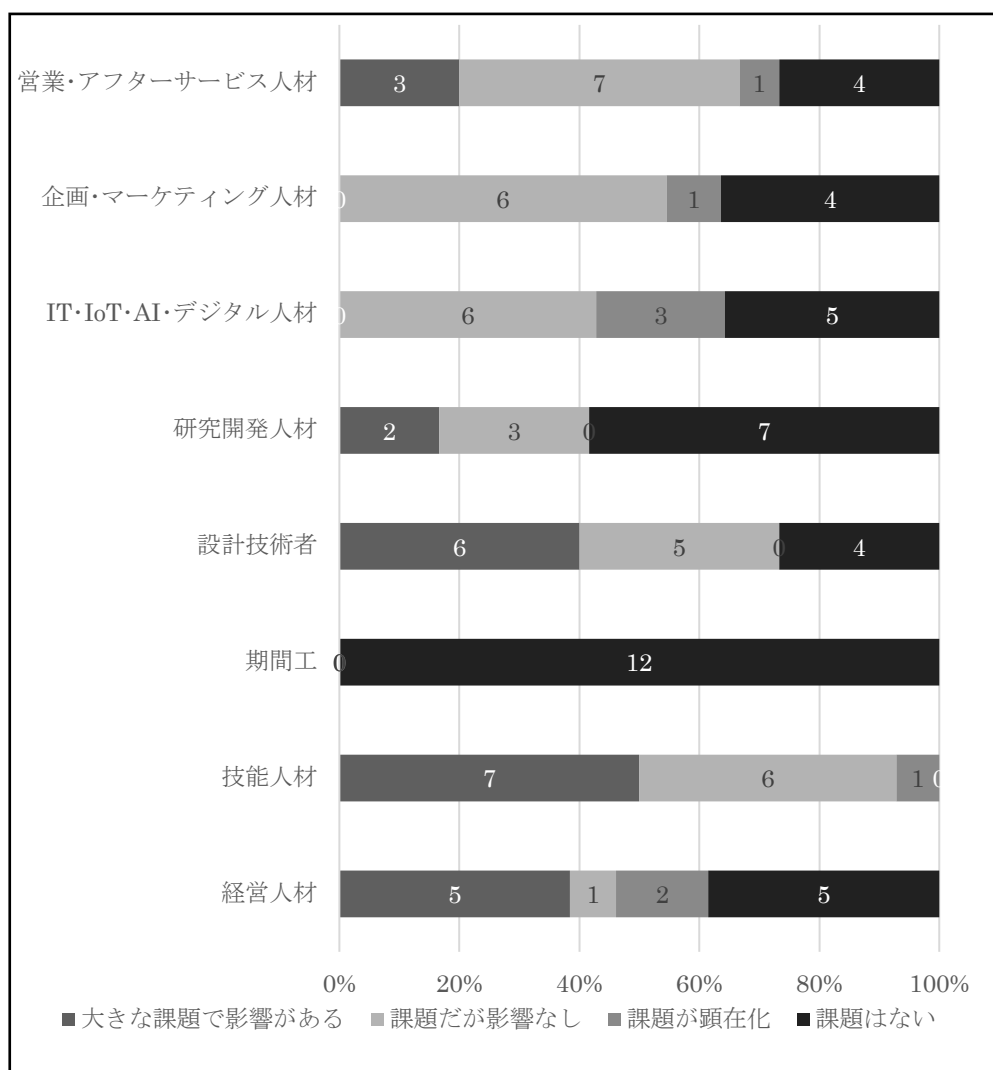


図 3.3.9-4 人材課題状況・正社員数 40～299 人（複数選択）

## 3.3.10 IT・ソフトの導入を進めている業務領域

- 全体について、80.0%の企業が「財務・会計領域」、58.7%の企業が「受注管理領域」、56.9%の企業が「販売・顧客領域」のIT・ソフトを導入していた。
- 全体について、60.0%の企業が「在庫管理領域」、57.8%の企業が「生産管理」、54.0%の企業が「人事・労務領域」のIT・ソフトが未導入だった。

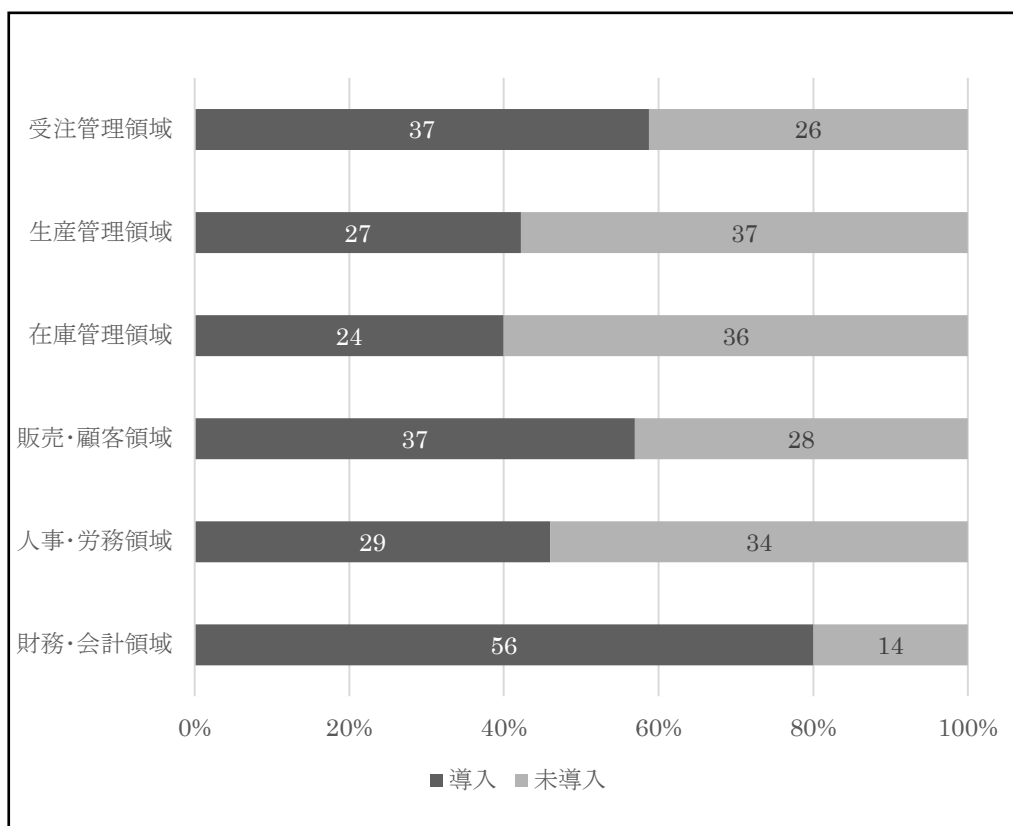


図 3.3.10-1 IT導入業務領域・全体（択一）

## &lt;19人以下&gt;

- 19人以下について、76.7%の企業が「財務・会計領域」、48.0%の企業が「受注管理領域」のIT・ソフトを導入していた。
- 19人以下について、79.2%の企業が「在庫管理領域」、76.9%の企業が「人事・労務領域」、70.4%の企業が「生産管理領域」のIT・ソフトが未導入だった。

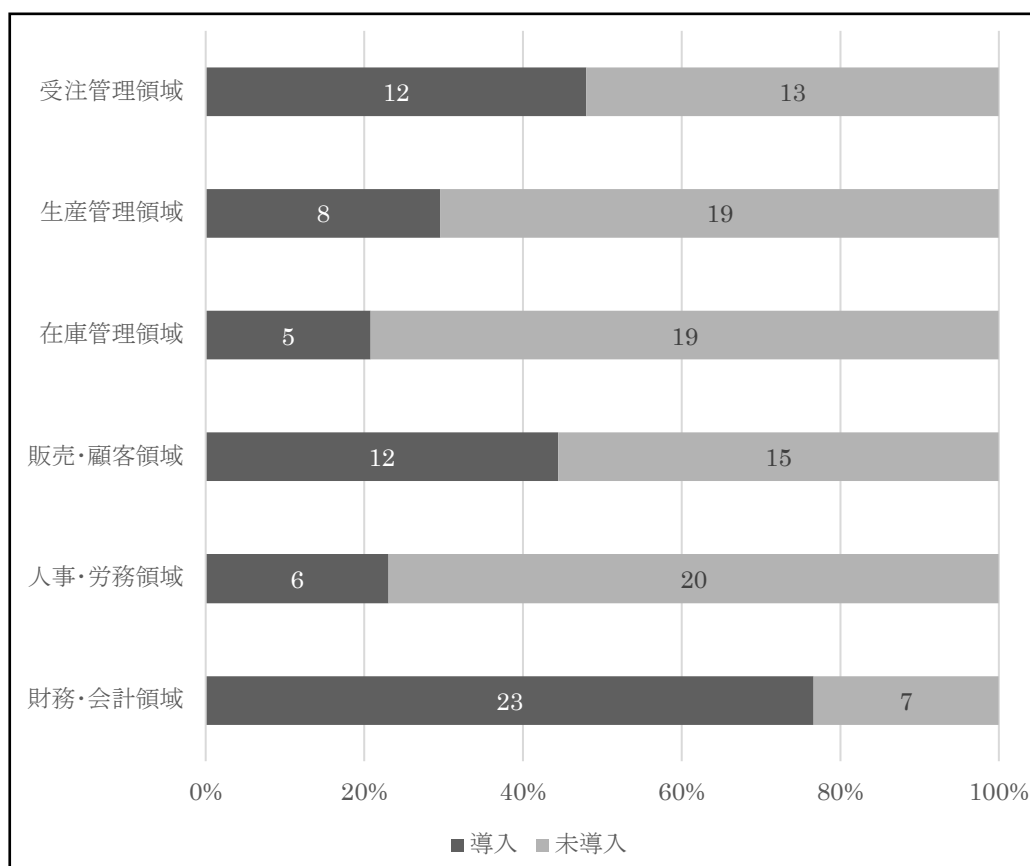


図 3.3.10-2 IT導入業務領域・正社員19人以下（択一）

## &lt;20人以上 39人以下&gt;

- 20～39人について、80.0%の企業が「財務・会計領域」および「販売・顧客領域」のIT・ソフトを導入していた。
- 20～39人について、61.1%の企業が「生産管理領域」のIT・ソフトが未導入だった。

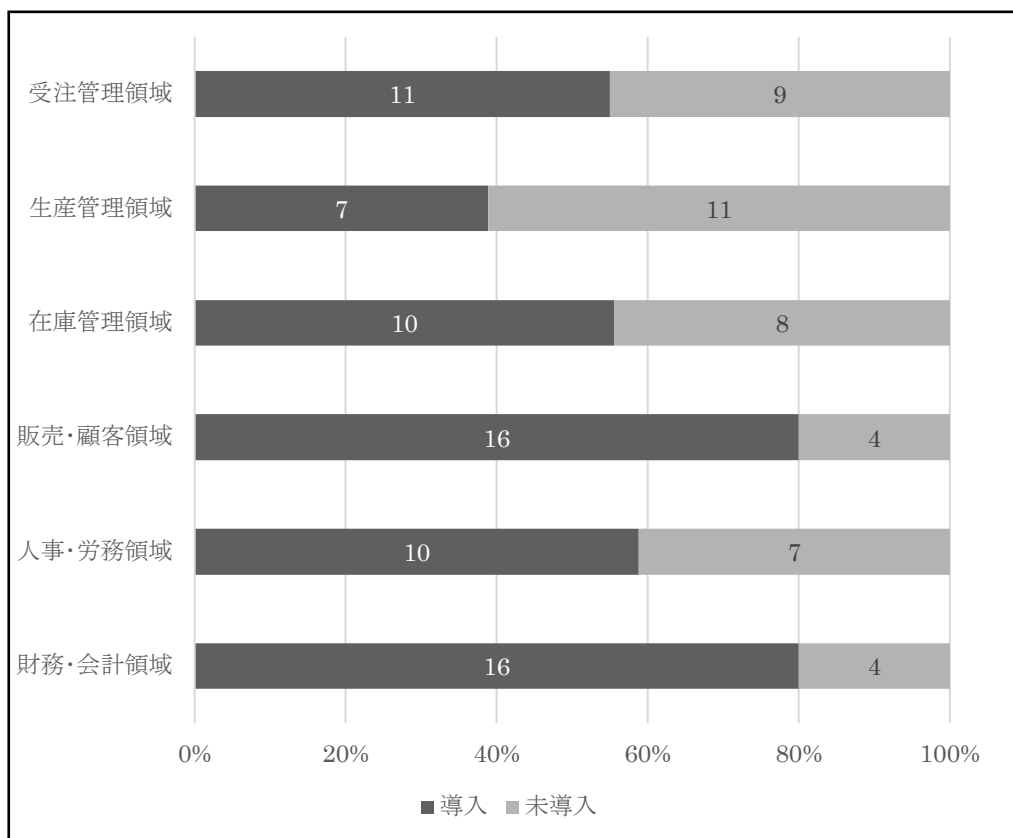


図 3.3.10-3 IT導入業務領域・正社員 20～39人（択一）



## ＜40人以上 299人以下＞

- 40～299人について、87.5%の企業が「財務・会計領域」、78.6%の企業が「受注管理領域」、66.7%の企業が「生産管理領域」、62.5%の企業が「人事・労務領域」のIT・ソフトを導入していた。

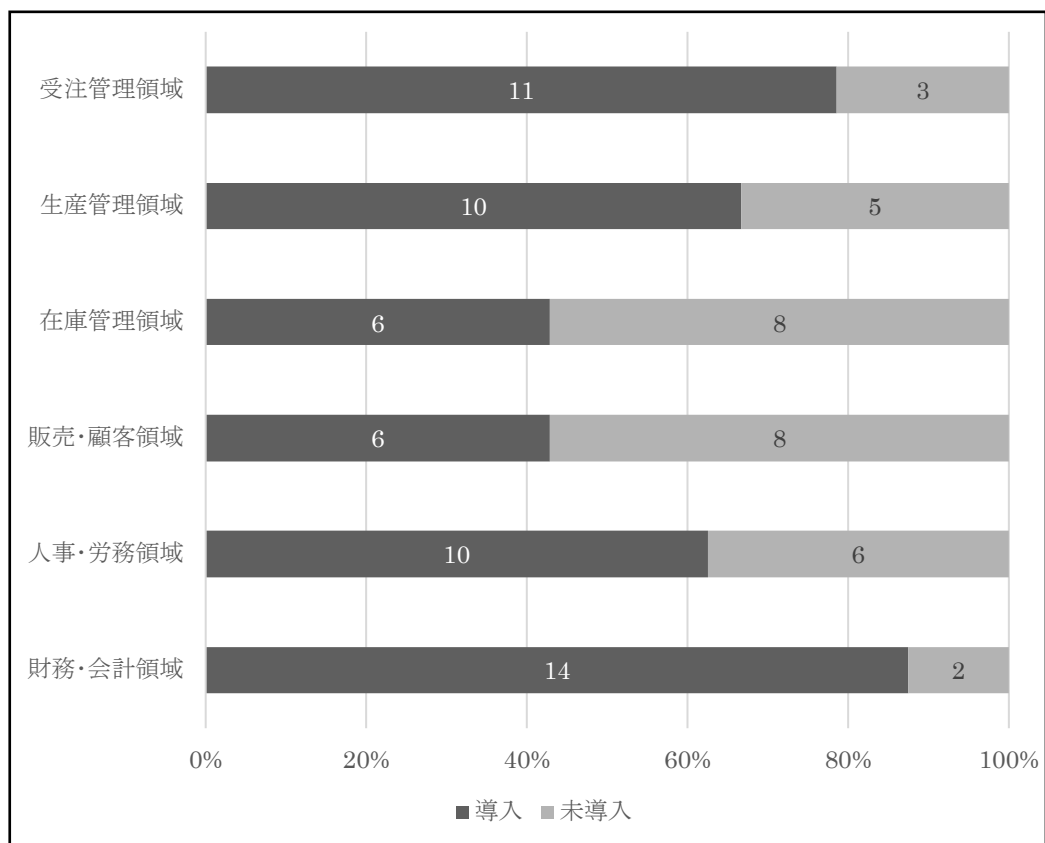


図 3.3.10-4 IT導入業務領域・正社員 40～299人（択一）

## 3.3.11 IT・ソフトの導入効果

## ＜全体＞

- 全体について、87.5%の企業が「財務・会計領域」、81.1%の企業が「販売・顧客領域」、79.3%の企業が「人事・労務領域」のIT・ソフト導入効果があったとした。
- 全体について、37.5%の企業が「在庫管理領域」、25.9%の企業が「生産管理領域」のIT・ソフトに導入効果は「あまりなかった」および「なかった」とした。

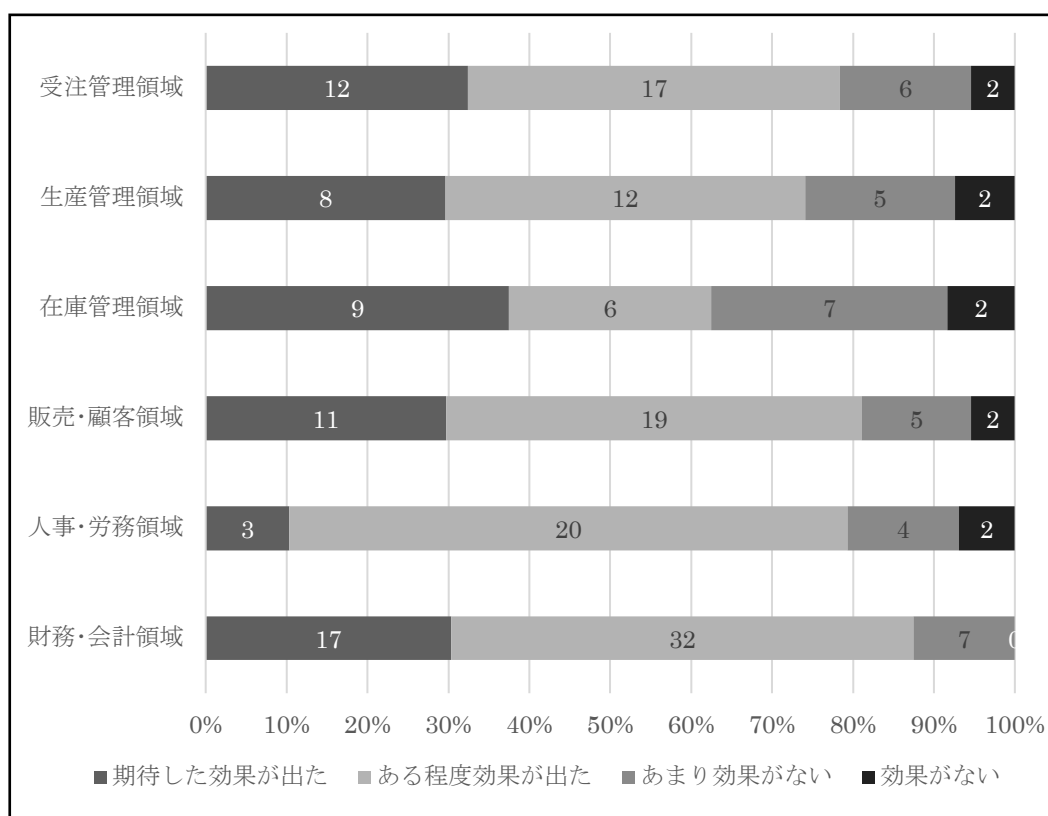


図 3.3.11-1 IT導入効果・全体（択一）

## &lt;19人以下&gt;

- 19人以下について、91.3%の企業が「財務・会計領域」、81.1%の企業が「販売・顧客領域」、75.0%の企業が「生産管理領域」のIT・ソフト導入効果があったとした。
- 19人以下について、80.0%の企業が「在庫管理領域」、50.0%の企業が「生産管理領域」のIT・ソフトに導入効果は「あまりなかった」および「なかった」とした。

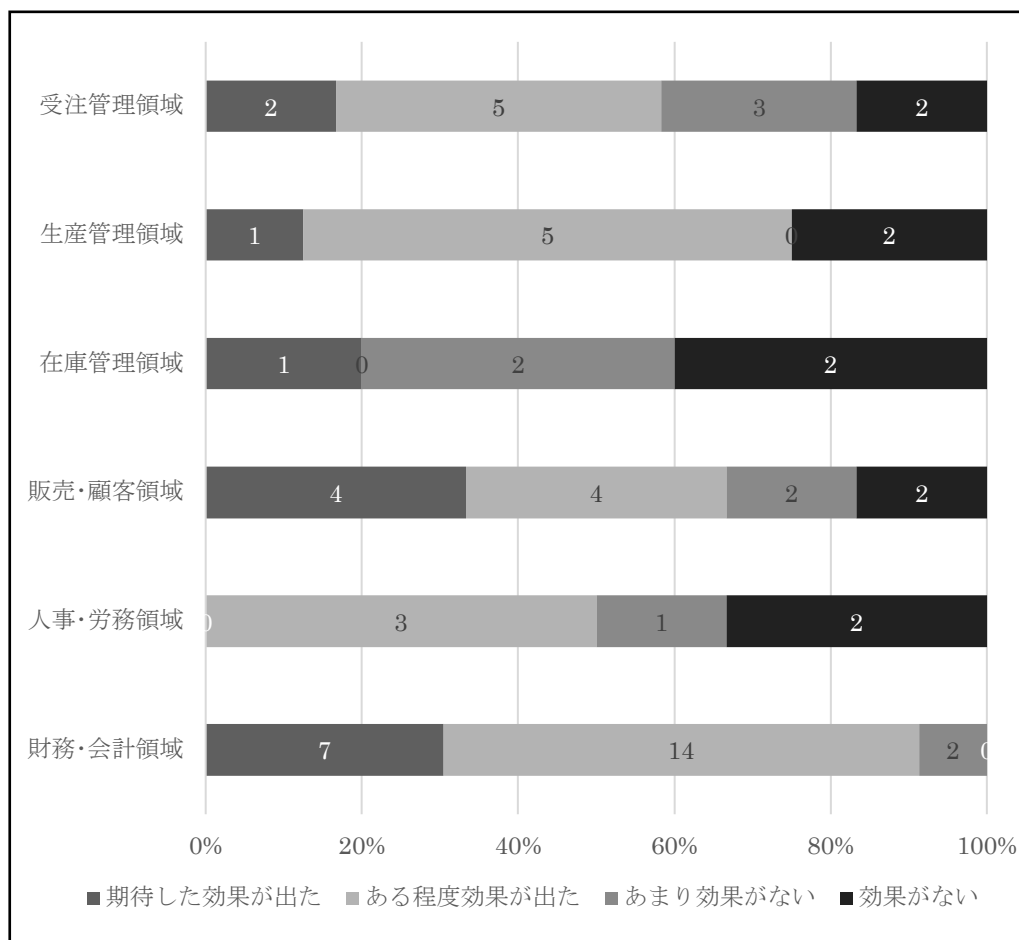


図 3.3.11-2 IT導入効果・正社員19人以下（択一）

## &lt;20人以上 39人以下&gt;

- 20～39 人について、93.8%の企業が「財務・会計領域」および「販売・顧客領域」、90.0%の企業が「人事・労務領域」のIT・ソフト導入効果があったとした。
- 20～39 人について、42.9%の企業が「生産管理領域」、30.0%の企業が「在庫管理領域」のIT・ソフトに導入効果は「あまりなかった」および「なかった」とした。

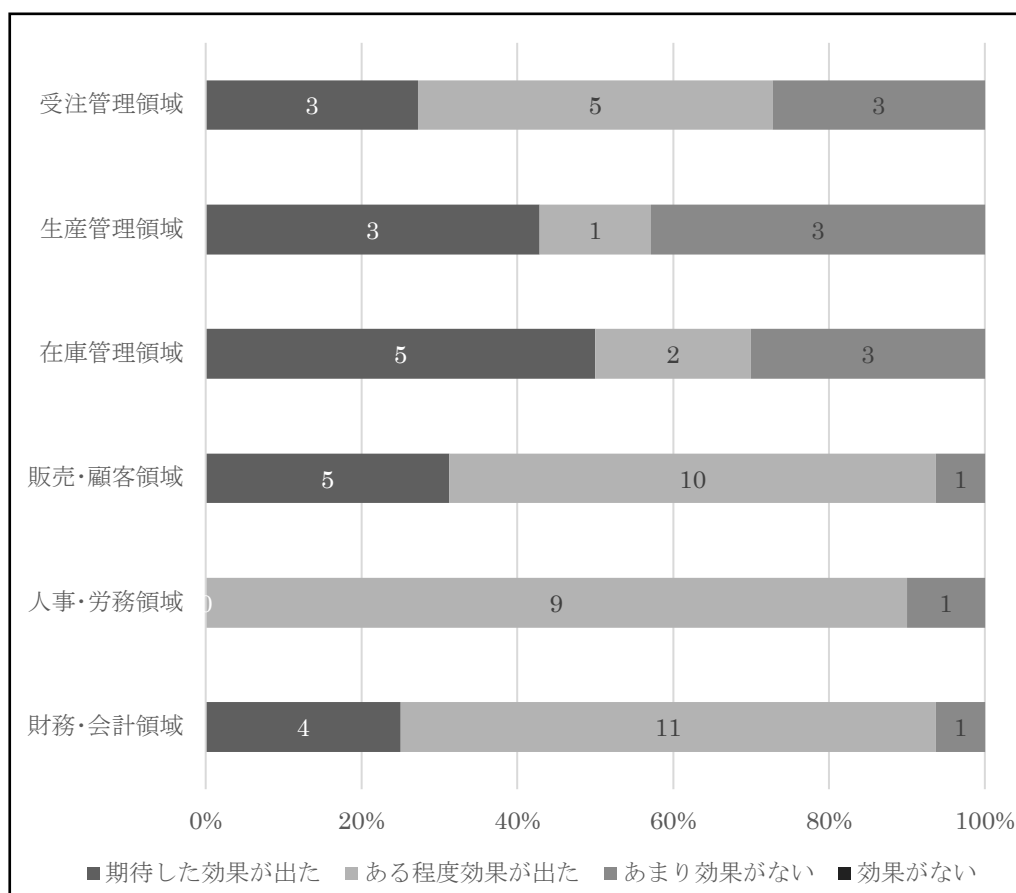


図 3.3.11-3 IT導入効果・正社員 20～39 人（択一）

## ＜40人以上 299人以下＞

- 40～299人について、100.0%の企業が「受注管理領域」、80.0%の企業が「生産管理領域」および「人事・労務領域」のＩＴ・ソフト導入効果があったとした。
- 40～299人について、33.3%の企業が「販売・顧客管理領域」および「在庫管理領域」のＩＴ・ソフトに導入効果は「あまりなかった」および「なかった」とした。

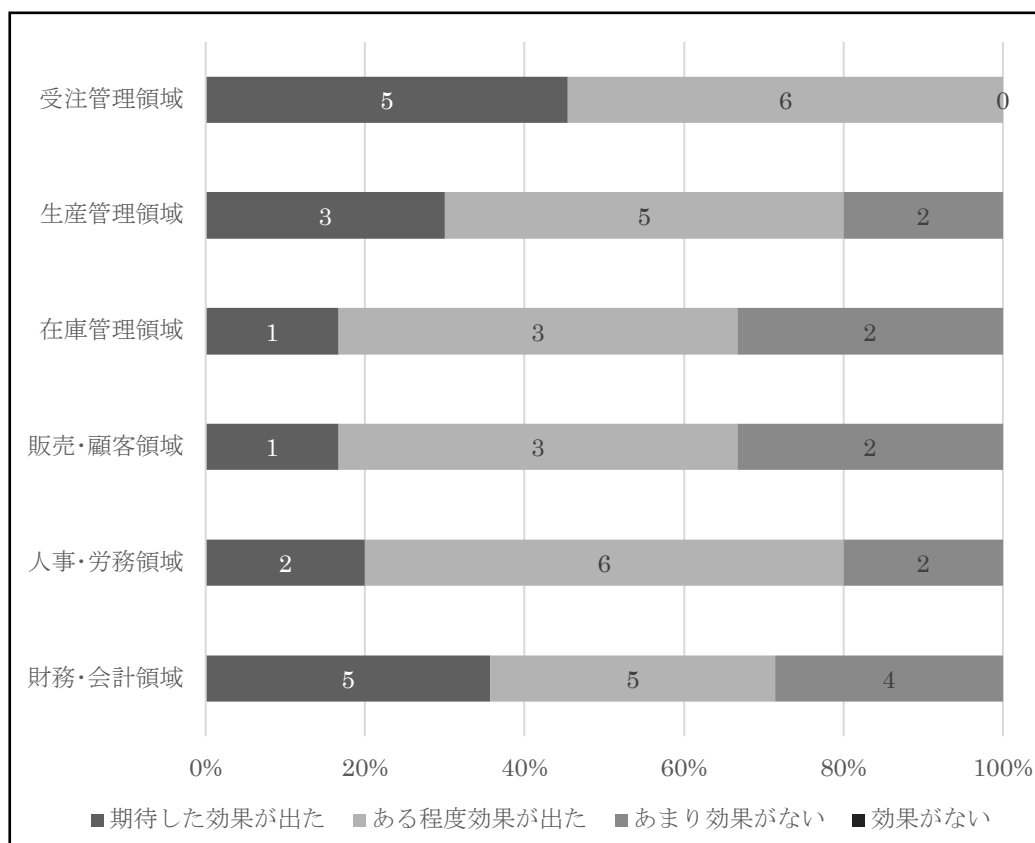


図 3.3.11-4 IT導入効果・正社員 40～299人（択一）

## 3.3.12 ITの導入・利用を進める際に感じた課題

## &lt;全体&gt;

- 全体について、72.2%の企業がITの導入時に課題を感じていた。

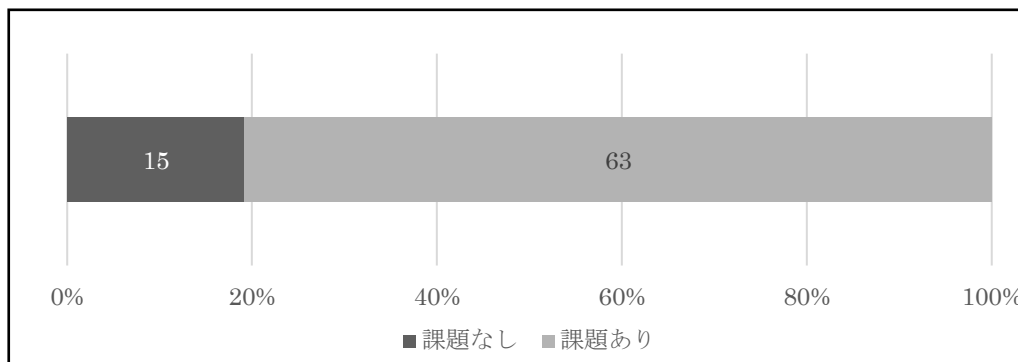


図 3.3.12-1 IT導入時の課題の有無・全体（択一）

- 全体について、48.8%の企業がITの導入時に「従業員が使いこなせない」および「導入の旗振り役人材がいない」、46.5%が「コストが負担できない」課題を感じていた。

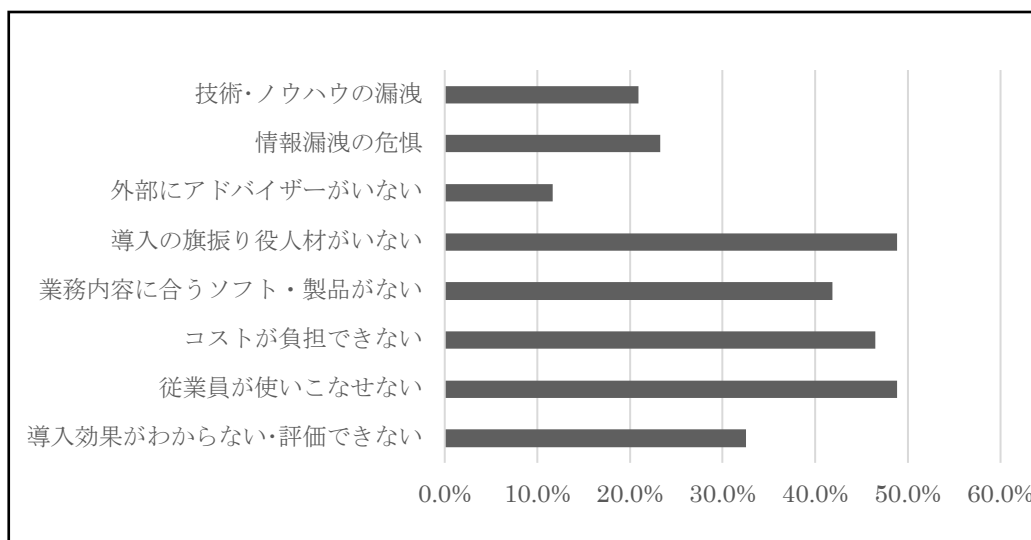


図 3.3.12-2 IT導入時に感じた課題・全体（複数選択）

## &lt;19人以下&gt;

- 19人以下について、100.0%の企業がITの導入時に課題を感じていた。

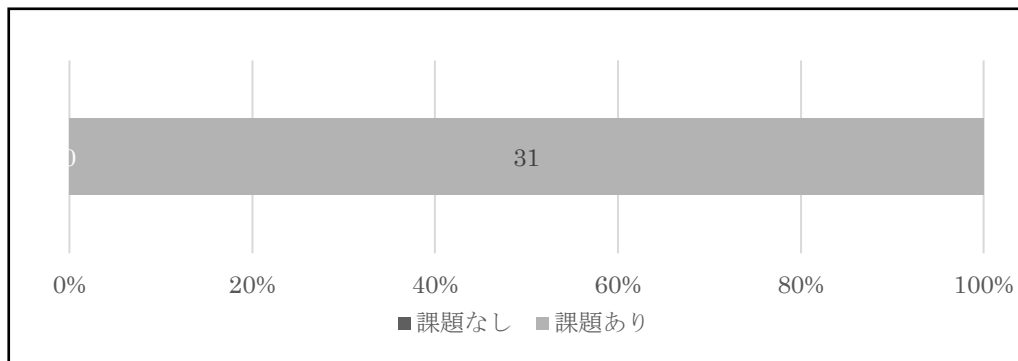


図 3.3.12-3 IT導入時の課題の有無・正社員19人以下（択一）

- 19人以下について、32.3%の企業がITの導入時に「導入効果がわからない・評価できない」および「業務内容に合うソフト・製品がない」、29.0%が「コストが負担できない」「従業員が使いこなせない」課題を感じていた。

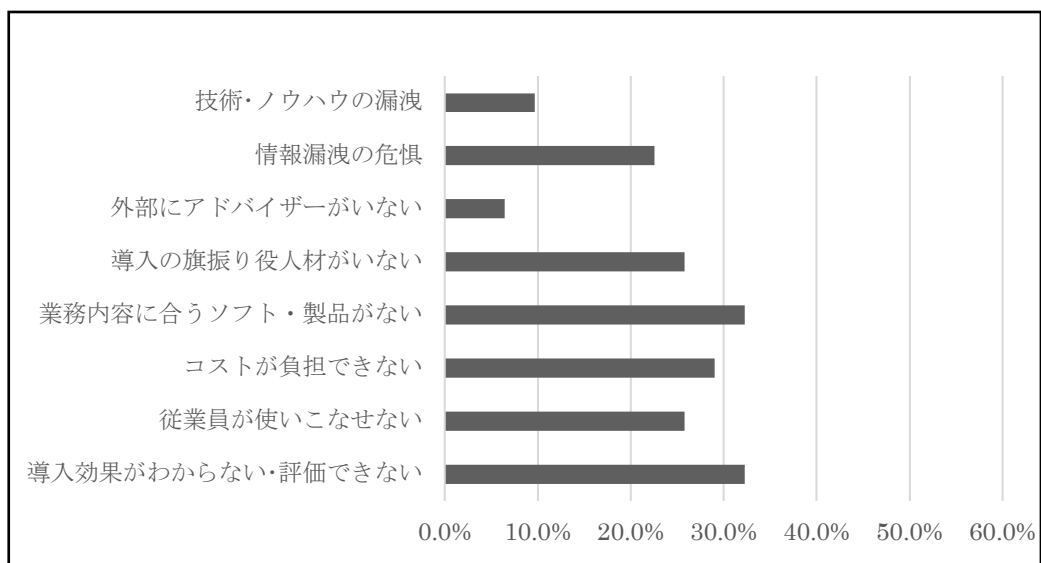


図 3.3.12-4 IT導入時に感じた課題・正社員19人以下（複数選択）

## &lt;20人以上 39人以下&gt;

- 20～39 人について、100.0%の企業がIT の導入時に課題を感じていた。

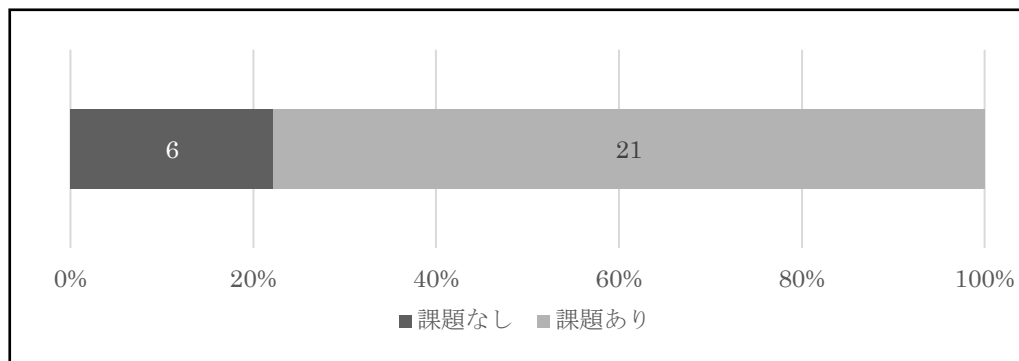


図 3.3.12-5 IT導入時の課題の有無・正社員 20～39 人（択一）

- 20～39 人について、33.3%の企業がIT の導入時に「コストが負担できない」、23.3%の企業が「導入の旗振り役人材がない」課題を感じていた。

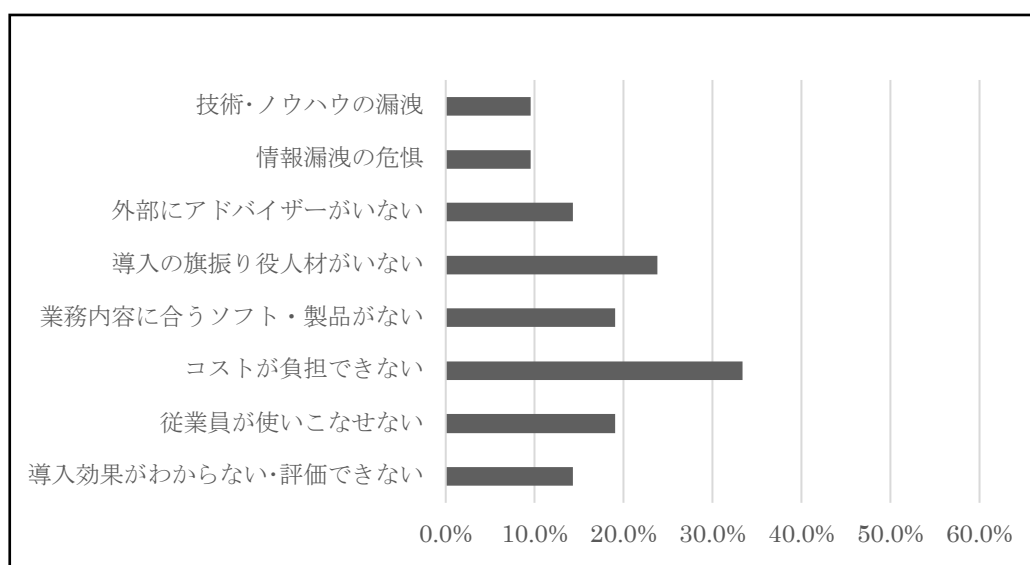


図 3.3.12-6 IT導入時に感じた課題・正社員 20～39 人（複数選択）



## &lt;40人以上 299人以下&gt;

- 40～299人について、100.0%の企業がITの導入時に課題を感じていた。

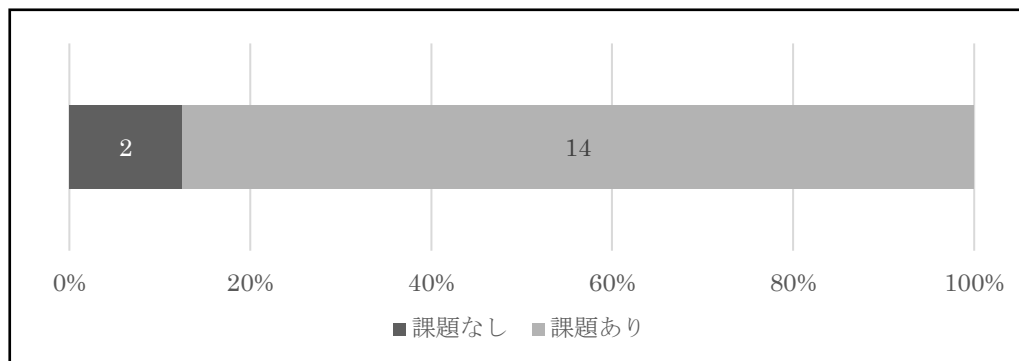


図 3.3.12-7 IT導入時の課題の有無・正社員 40～299人（択一）

- 40～299人について、64.3%企業がITの導入時に「従業員が使いこなせない」、42.9%の企業が「導入の旗振り役人材がない」課題を感じていた。

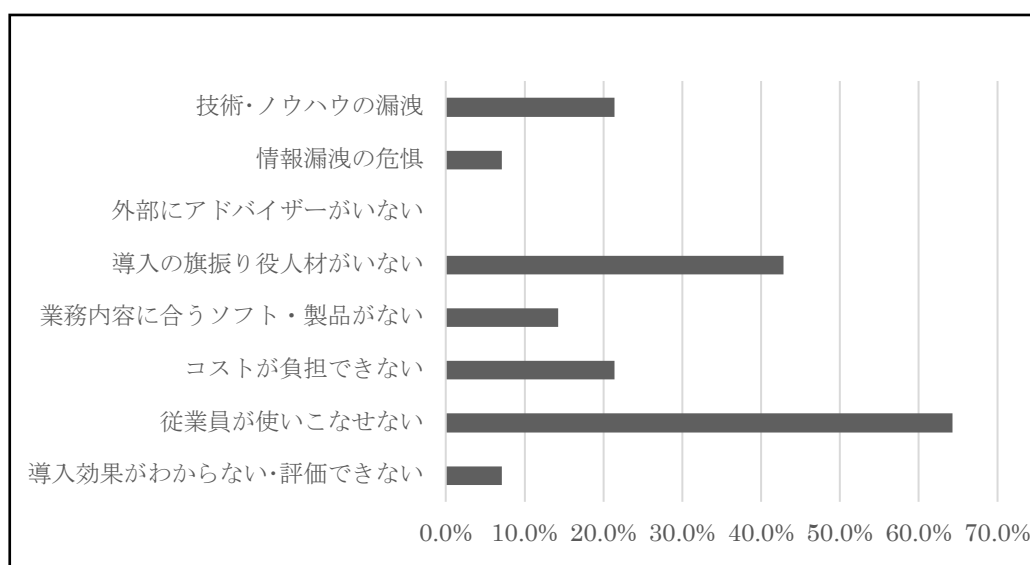


図 3.3.12-8 IT導入時に感じた課題・正社員 40～299人（複数選択）

### 3.3.13 IT人材に望む「基礎能力」

#### <全体>

- 全体について、61.5%の企業が「コミュニケーション力」、57.7%の企業が「協調性・チームワーク力」、52.6%の企業が「スピード感」を挙げた。
- 全体について、「リーダーシップ」を12.8%の企業が、「部下指導・管理力」を28.2%の企業が挙げ、これらはIT人材に望む基礎能力として低かった。

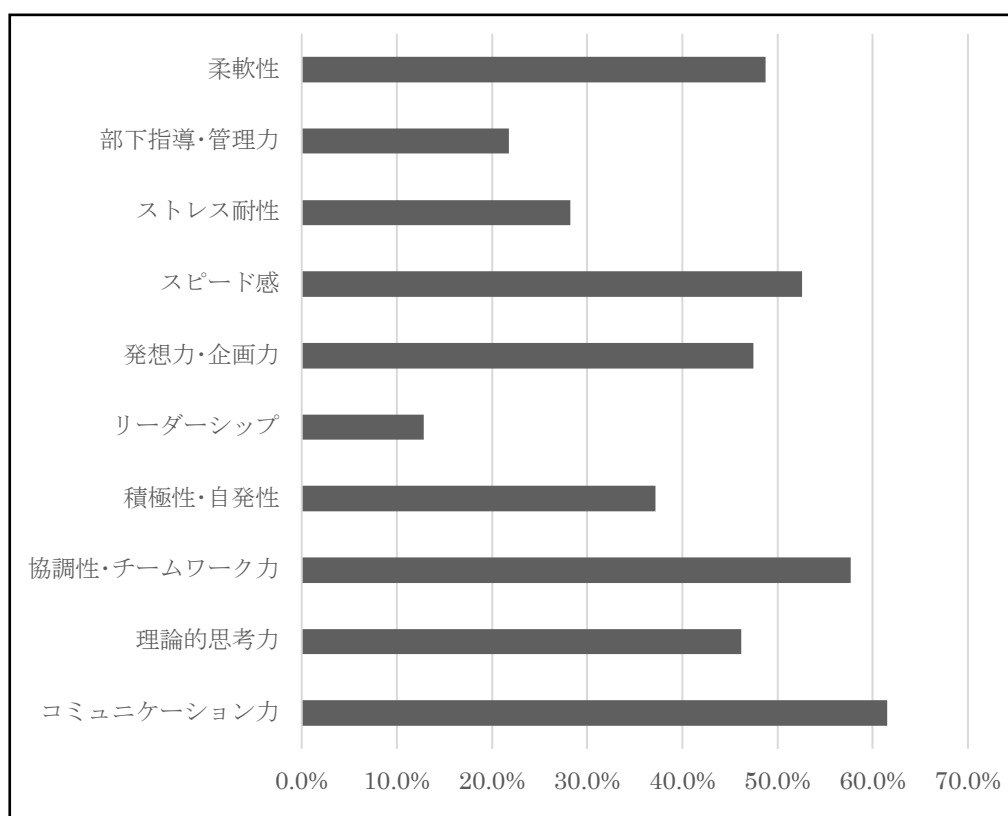


図 3.3.13-1 IT人材に望む基礎能力・全体（複数選択）

## &lt;19人以下&gt;

- 19人以下について、51.6%の企業が「コミュニケーション力」および「柔軟性」、48.4%の企業が「協調性・チームワーク力」、38.7%の企業が「発想力・企画力」を挙げた。
- 19人以下について、「リーダーシップ」を6.5%の企業が、「部下指導・管理力」および「積極性・自発性」を16.1%の企業が挙げ、これらはIT人材に望む基礎能力として低かった。

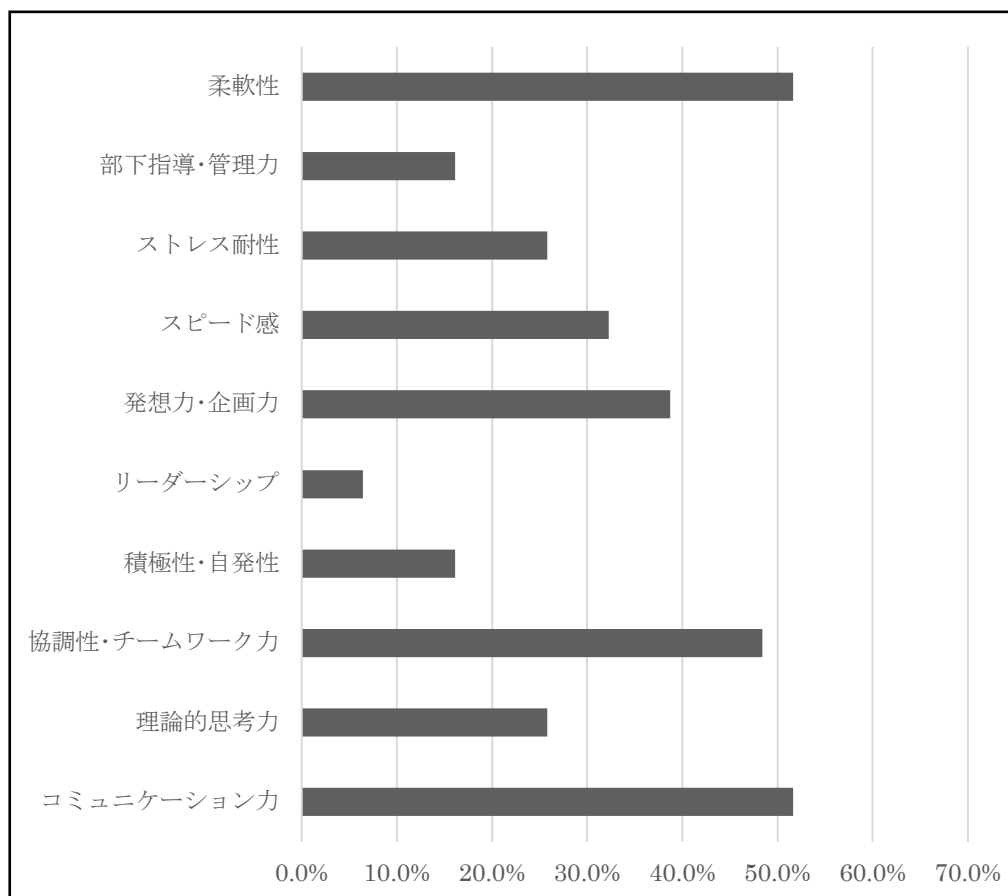


図 3.3.1-40 IT人材に望む基礎能力・正社員 19人以下（複数選択）

## &lt;20人以上 39人以下&gt;

- 20～39 人について、70.4%の企業が「協調性・チームワーク力」、59.3%の企業が「コミュニケーション力」、51.9%の企業が「スピード感」「積極性・自発性」「理論的思考力」を挙げた。
- 20～39 人について、「リーダーシップ」を 18.5%の企業が、「ストレス耐性」を 25.9%の企業が挙げ、これらはIT人材に望む基礎能力として低かった。

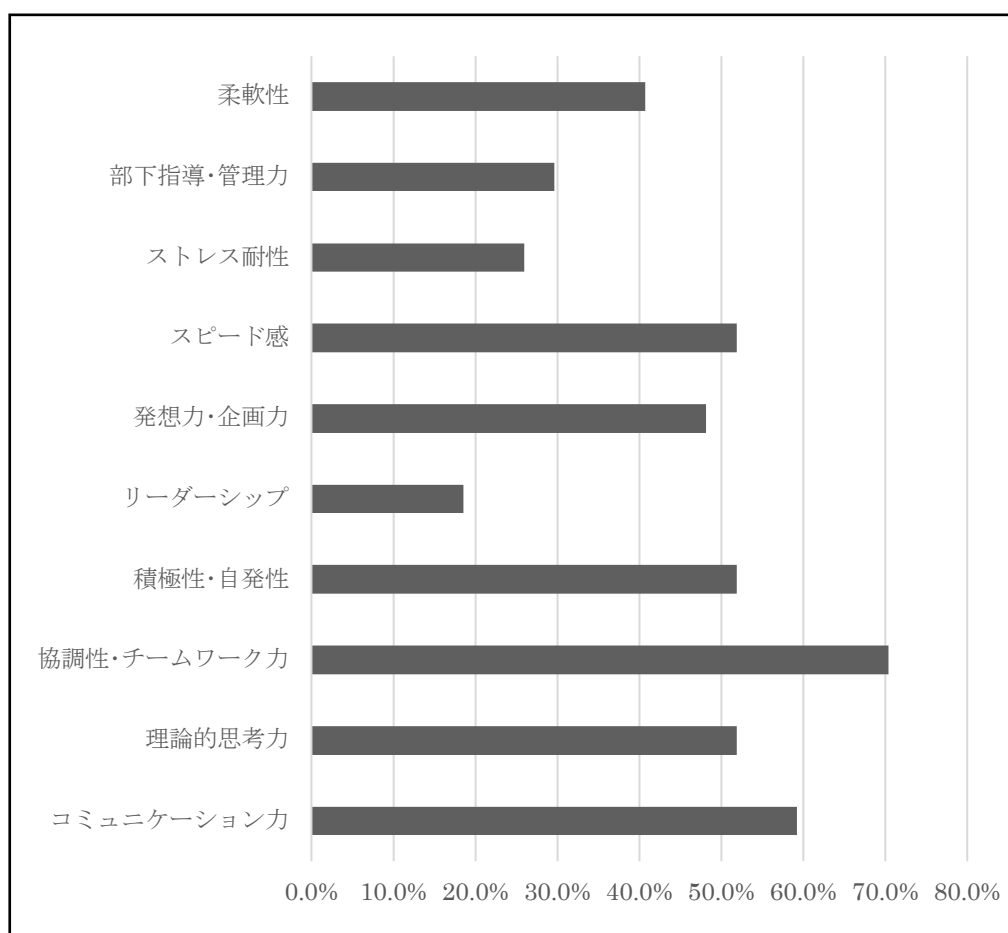


図 3.3.1-41 IT人材に望む基礎能力・正社員 20～39 人（複数選択）

## ＜40人以上 299人以下＞

- 40～299人について、87.5%の企業が「コミュニケーション力」および「スピード感」を挙げた。
- 40～299人について、「リーダーシップ」を12.5%の企業が、「部下指導・管理力」を18.8%の企業が挙げ、これらはIT人材に望む基礎能力として低かった。

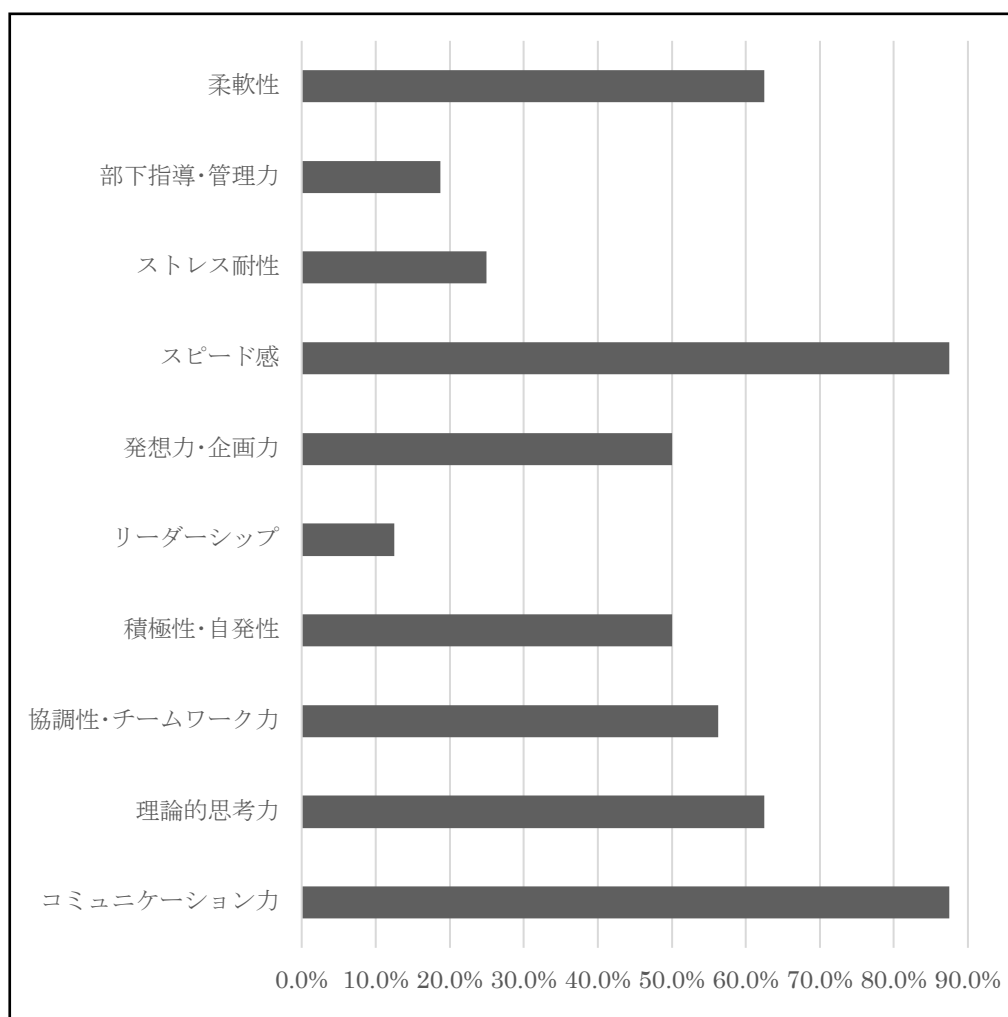


図 3.3.1-42 IT人材に望む基礎能力・正社員 40～299人（複数選択）

## 3.3.14 IT人材に望む「技術力」

## ＜全体＞

- 全体について、55.1%の企業が「コンピュータ全般知識とメンテナンス」、47.4%の企業が「生産現場データの解析から生産性を向上」、46.2%の企業が「ソフトウェア使用の指導」を挙げた。
- 全体について、「3Dプリンタで試作品の作成」を10.3%の企業が、「IoT・スマートファクトリー導入提案」を12.8%の企業が挙げ、これらはIT人材に望む技術力として低かった。

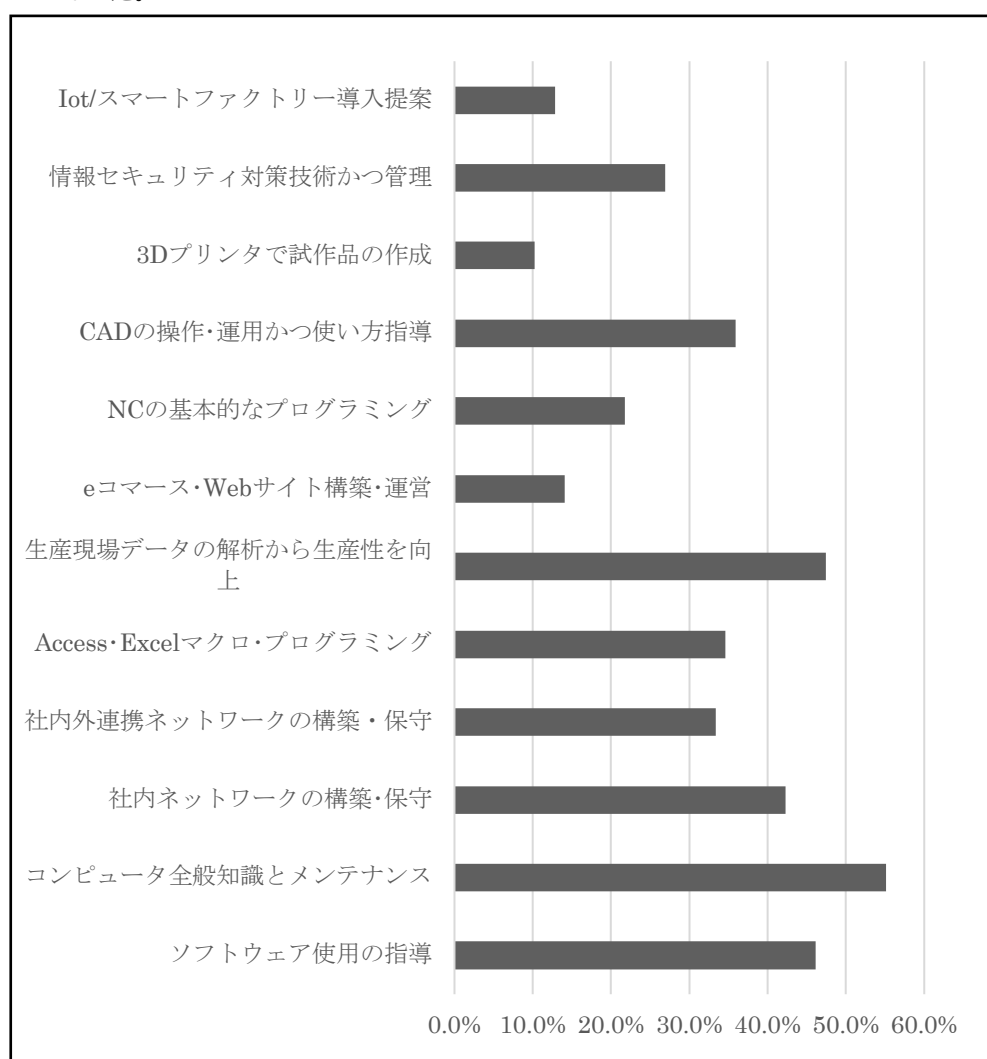


図 3.3.14-1 IT人材に望む技術力・全体（複数選択）

## ＜19人以下＞

- 19人以下について、45.2%の企業が「コンピュータ全般知識とメンテナンス」、38.7%の企業が「生産現場データの解析から生産性を向上」、35.5%の企業が「CADの操作・運用かつ使い方指導」を挙げた。
- 全体について、「3Dプリンタで試作品の作成」を3.2%の企業が、「eコマース・Webサイト構築・運営」を6.5%の企業が挙げ、これらはIT人材に望む技術力として低かった。

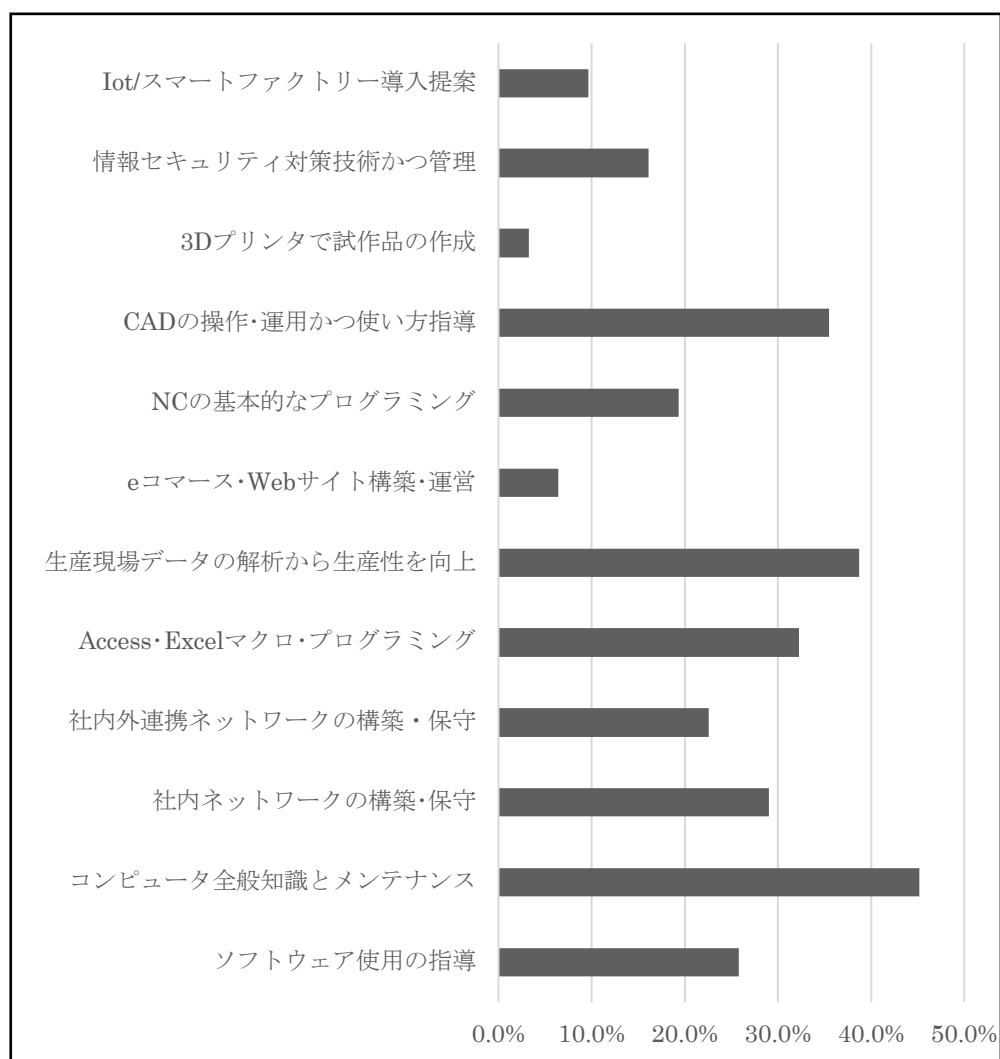


図 3.3.1-44 IT人材に望む技術力・正社員19人以下（複数選択）

## ＜20人以上 39人以下＞

- 20～39 人について、55.6%の企業が「ソフトウェア使用の指導」、51.9%の企業が「コンピュータ全般知識とメンテナンス」、48.1%の企業が「生産現場データの解析から生産性を向上」を挙げた。
- 20～39 人について、「3Dプリンタで試作品の作成」および「Iot・スマートファクトリー導入提案」は 0%だった。これらはIT人材に望む技術力としてはあげられなかった。

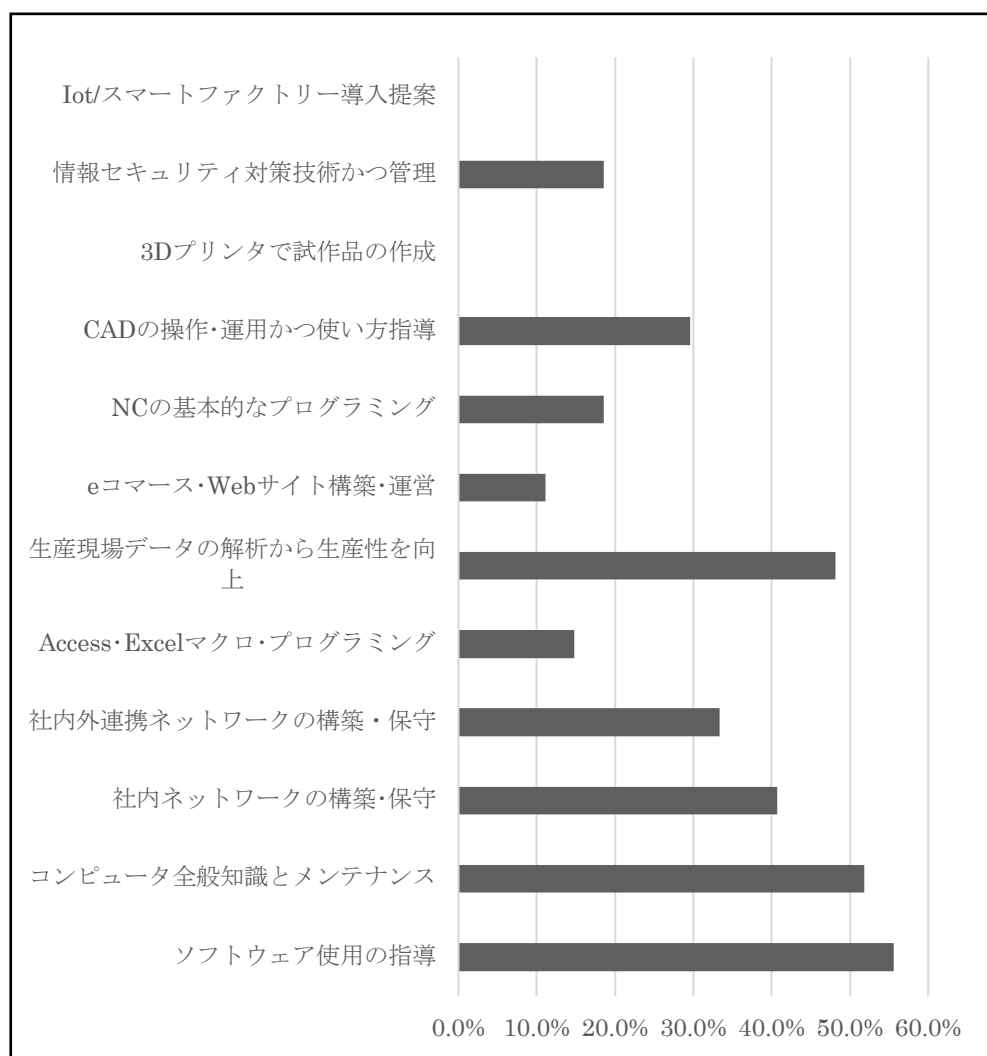


図 3.3.1-45 IT人材に望む技術力・正社員 20～39 人（複数選択）



## ＜40人以上 299人以下＞

- 40～299人について、75.0%の企業が「ソフトウェア使用の指導」および「コンピュータ全般知識とメンテナンス」、68.8%の企業が「生産現場データの解析から生産性を向上」および「Access・Excelマクロ・プログラミング」を挙げた。

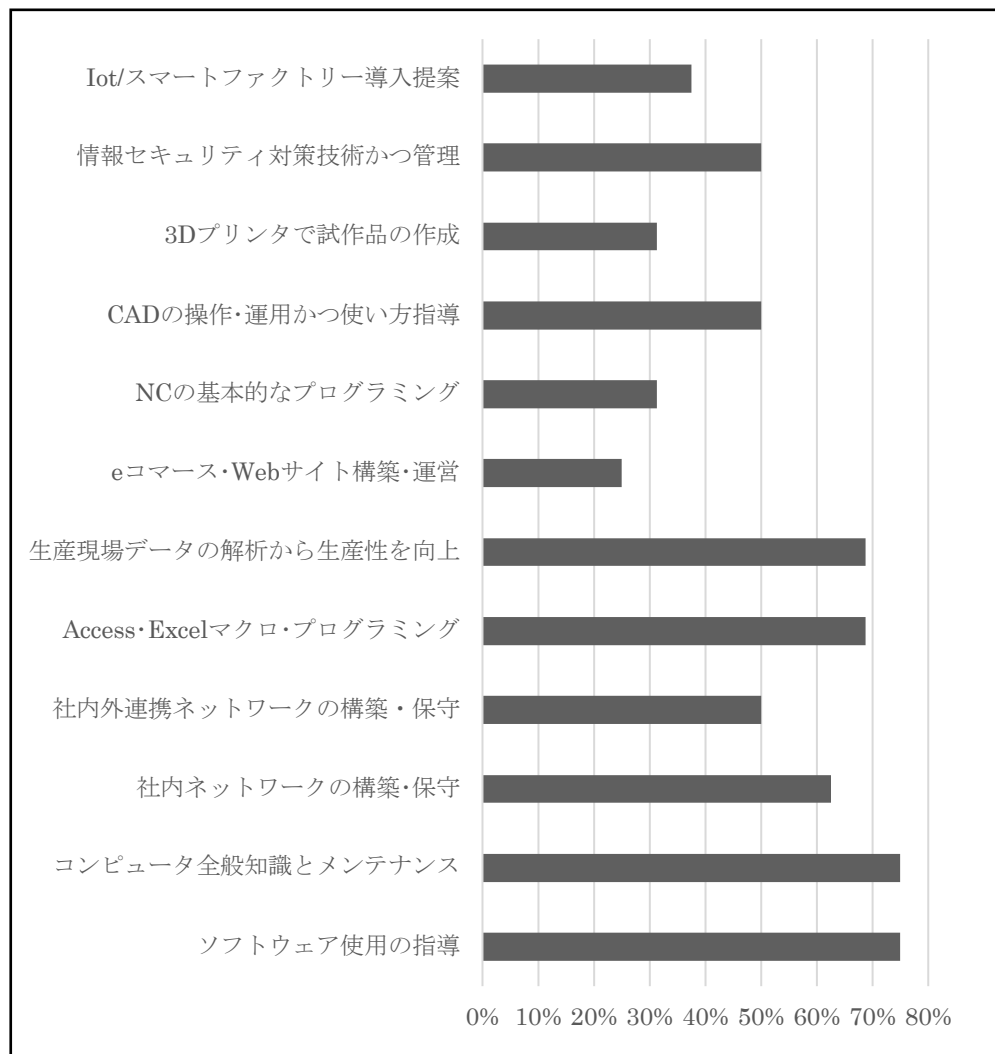


図 3.3.1-46 IT人材に望む技術力・正社員 40～299人（複数選択）

## 4 実態等に関するヒアリング調査の実施結果

### 4.1 目的

備後地域のものづくり企業のヒアリング調査を行い実態と現場課題を明らかにし、育成プログラム開発の基礎とする。

### 4.2 ヒアリング調査概要

#### 4.2.1 ヒアリング調査対象企業

人材育成協議会委員や穴吹学園就職部の紹介等により、本事業協力企業5社にヒアリング調査を行った。

|        |               |
|--------|---------------|
| 広島県福山市 | 株式会社栄工社       |
| 広島県福山市 | ペアコム株式会社      |
| 広島県福山市 | カスタム株式会社      |
| 広島県福山市 | 株式会社ワイザーリンクージ |
| 岡山県井原市 | 入栄工業株式会社      |

表 4-1 ヒアリング調査企業

#### 4.2.2 ヒアリング調査実施期間

調査実施期間を以下に示す。

|         | 調査期間・調査日             |
|---------|----------------------|
| アンケート調査 | 令和2年12月10日～令和3年1月29日 |

表 4-2 アンケート調査期間

#### 4.2.3 ヒアリング調査事業所と実施日時

(順不同)

| 所在地    | 事業所名          | 実施日時                      |
|--------|---------------|---------------------------|
| 広島県福山市 | 株式会社栄工社       | 令和2年12月10日(木) 14:00～15:30 |
| 広島県福山市 | ペアコム株式会社      | 令和2年12月11日(金) 11:00～12:00 |
| 広島県福山市 | カスタム株式会社      | 令和2年12月15日(火) 13:00～14:00 |
| 広島県福山市 | 株式会社ワイザーリンクージ | 令和3年1月29日(金) 16:00～17:00  |
| 岡山県井原市 | 入栄工業株式会社      | 令和3年1月28日(木) 14:00～15:00  |

表 4-3 ヒアリング調査事業所と実施日時

### 4.3 ヒアリング調査結果（順不同）

以下にヒアリング調査結果を示す。なお、ヒアリング対象事業所および対象者の特定を避けるため、ヒアリング結果は順不同で掲載し、言葉の言い回し等についてヒアリング内容を損なわない程度に揃えた。

また、ヒアリング調査票として資料を掲載するが、企業及び回答者の特定が可能となる情報は伏せ、掲載した。

#### 4.3.1 どのようなものづくりをされていますか。

- 電子回路製造、制御盤組み立て、LED 照明器具製造等
- 計・作図・鉄骨製作
- ロストワックス精密鋳造部品・セラミック射出焼結部品、金属射出焼結部品等
- 樹脂・プラスチックの販売及び加工、看板資材の販売
- 電気機器器具・油空圧機器等

#### 4.3.2 雇用者の正規職員、非正規職員の人数を教えてください。

- 非正規社員 30 名（パート 1 名、アルバイト 1 名、他はフリーダム）
- 非正規社員 10 名（男性パートアルバイト中心）
- 正職員 13 名、非正規職員 51 名。
- 正職員 276 名、非正規職員 40 名。
- 正職員 246 名、非正規職員 21

#### 4.3.3 非正規社員の状況を教えてください。

- 9 割強が地元採用であり、新卒採用に力を入れているので非正規職員は派遣以外採用していない。
- 非正規職員は全員女性であり、雇用期間が 5 年超えた場合正社員登用制度があるが現在登用者はいない。
- 非正規職員はほぼ派遣社員で、男性が 6 割、女性が 3 割。
- パート職員全員がパート形態の雇用を希望している。
- 非正規職員はほぼ全員女性であり、受注増があれば採用している状況。

#### 4.3.4 就職氷河期世代の雇用状況を教えてください。

- 就職氷河期世代はうち 21 名となるが、正社員のほうがこの世代は多い。
- 正社員の多くが氷河期世代だと思う。
- 正社員は若い世代が多く、氷河期世代はほぼいない状況。

#### 4.3.5 就職氷河期世代の採用条件などについて教えてください。

- 非正規職員期間が長い場合はコミュニケーションに問題があるのではないかという疑問がつくので正社員雇用は難しいかもしれない。特に無職期間が長いと難しい。
- 前職が製造業種で勤務している方であれば採用の可能性がある。
- 今後の雇用する人材の条件については特にない。むしろ無職の期間が長い方でも素直に仕事をしてもらえるのであれば歓迎する。

#### 4.3.6 その他採用条件などについて教えてください。

- 不足している人材は営業、技能人材で現在求人を出している状況。
- コミュニケーションがとれる方が望ましい。
- 文系理系は問わないが能力があれば非正規雇用でなく正社員として雇用したいと思っている。
- IT 人材は必要であるが、社内研修も充実しているのである程度知識がある方であれば採用後人材育成を研修で行うので現時点では問題ない。
- 不足している人材は営業、設計、技能人材が中心。前職で正社員期間がながく現在無職の方であれば雇用を考えるが、前職が製造業でなく無職期間が長い方については正直難しい。
- 企画・営業の人材が不足しているので、今後社員育成により企画・営業ができる人材を育てたい。HP など販促物デザイン作成等のスキルアップが図ればよいと感じている。
- コロナが収束する時期になることを予測すると設計技術者が不足ぎみになるかもしれないので今のうちに確保したいというのが本音。

#### 4.3.7 社員研修について教えてください。

- 社内研修は定期には実施していない。ほぼ外部の研修制度を利用しているためコストがかかるのでその点がネック。
- 社員研修はOJT が中心で、実務をしながら指導していくというスタイル。これは個別生産形態をとっているため。

#### 4.3.8 非正規社員のリカレント教育は可能かどうか教えてください。

- 弊社は非正規雇用者が多いため、本事業のリカレント教育が次年度できるのあればぜひ参加させたい。
- リカレント教育プログラムの内容については学びたいという非正規社員（派遣）いると思うが、会社から派遣社員の方に時間を割いて学ばせるということは考えていない。派遣社員はいずれ期間満了で退社することが予測できるためである。
- 当事業のプログラムに非正規雇用者が参加することは可能かを聞いたところそれは難しいとのこと。
- 非正規雇用者へのリカレント教育であるが、弊社としては難しい状況。正社員でも若手への教育であれば参加したいところ。

#### 4.3.9 本事業で考えているリカレント教育科目についてご感想をお願いします。

- 職場見学についても社内機密事項も多いため、採用可能性がある方でなければ見学も難しい。
- リカレント科目については妥当なところではないかと思う。ただし、通信でなければ参加はできないという会社が大多数ではないかと思う。
- プログラムの中で職場見学が入っているが、受講生の中で無職の方であれば見学の受入れは歓迎するが、他社で働いている従業員であればノウハウが盗まれる危険性も多少なりともあるかもしれないのでNG。
- 本事業のリカレント教育期間も弊社としては長ければ長いほどスキルもしっかり身につくという考えなので200時間以上はほしいところ。また、通信でも通学でもいいが、なるべく通信を増やしていただけると助かる。
- 事業計画書にプログラム案があるがコミュニケーションの授業があるのでありがたいと思う。
- NC プログラミングやe コマースなどは当社は不要なのでニーズはない。さらに言えばCAD 系講座を増やしPC スキル講座の授業時間を増やすほうが人材育成にはよいのではないか。

## 製造業の就職氷河期世代の就業実態および製造現場におけるＩＴ人材ニーズに関する調査 ご協力をお願い

～就職氷河期世代の製造業ＩＴ人材を育成する教育プログラム開発のために、貴社のお考えを聞かせてください～

この調査は、文部科学省「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」の委託事業として「製造業のＩＴ人材開発プログラム（就職氷河期世代の学び直し合同講座）」開発を行うための基礎調査です。是非率直なご意見をお聞かせください。

質問回答時間の目安は 10 分以内です

## 問１ 貴社の所在する市と名称をご記入ください。

福山市・府中市・尾道市・笠岡市・井原市

会社の名称

## 問２ 下の表より、貴社の主な事業の分類番号に○をつけてください。

※主なものに一つだけ○をつけてください。分類番号は日本標準産業分類・中分類番号です。

|    |               |    |                |    |                   |
|----|---------------|----|----------------|----|-------------------|
| 09 | 食料品製造業        | 17 | 石油製品・石炭製品製造業   | 25 | はん用機械器具製造業        |
| 10 | 飲料・たばこ・飼料製造業  | 18 | プラスチック製品製造業    | 26 | 生産用機械器具製造業        |
| 11 | 繊維工業          | 19 | ゴム製品製造業        | 27 | 業務用機械器具製造業        |
| 12 | 木材・木製品製造業     | 20 | なめし革・同製品・毛皮製造業 | 28 | 電子部品・デバイス・電子回路製造業 |
| 13 | 家具・装備品製造業     | 21 | 窯業・土石製品製造業     | 29 | 電気機械器具製造業         |
| 14 | パルプ・紙・紙加工品製造業 | 22 | 鉄鋼業            | 30 | 情報通信機械器具製造業       |
| 15 | 印刷・同関連業       | 23 | 非鉄金属製造業        | 31 | 輸送用機械器具製造業        |
| 16 | 化学工業          | 24 | 金属製品製造業        | 32 | その他の製造業           |

※日本標準産業分類・中分類（総務省）

## 問３ 貴社の主な生産形態についてお答えください。

1 少品種大量生産 2 多品種少量生産 3 個別生産 4 ロット（バッチ）生産

## 問４ 貴社の生産進捗状況の見える化についてお答えください。

1 モニター画面（リアルタイム） 2 モニター画面（前日状況） 3 ミーティングで確認  
4 工場の巡視で把握 5 その他

## 問５ 取引先との受注情報のやりとりについてお答えください。

1 メールデータ授受 2 FAX 3 TEL  
4 営業部門が訪問し受注 5 顧客とシステムで結合（ＥＣ） 6 その他

問 6 2020 年 10 月 31 日現在の正規社員と、非正規社員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員）の人数をお答えください。

正規社員

人

非正規社員

人

問 7 非正規社員の年齢区分ごとの人数を教えてください。正確にわからない場合は、概数で結構です。

1 19 歳以下

人

2 20～34 歳

人

3 35～49 歳（就職氷河期世代）

人

4 50～64 歳

人

5 65 歳以上

人

問 8 貴社のいわゆる就職氷河期世代（35～49 歳）のケース別採用意向についてお聞きします。

|                                            | 大いに可能性がある | 場合によっては可能性がある | おそらく可能性がない | 可能性はない |
|--------------------------------------------|-----------|---------------|------------|--------|
| ①正規社員の在職期間が長い就職希望者<br>（正規社員期間＞非正規社員＋無職期間）  |           |               |            |        |
| ②非正規社員の在職期間が長い就職希望者<br>（非正規社員期間＞正規社員＋無職期間） |           |               |            |        |
| ③無職の期間が長い就職希望者<br>（無職期間＞正規社員＋非正規社員期間）      |           |               |            |        |

問 9 貴社の人材確保状況についてお聞きます。それぞれの人材について確保の課題度を○でお答えください。

|                   | 大きな課題となっており業務にも影響が出ている | 課題ではあるが業務に影響が出るほどではない | 課題が顕在化しつつある | 特に課題はない |
|-------------------|------------------------|-----------------------|-------------|---------|
| ①経営人材             |                        |                       |             |         |
| ②技能人材             |                        |                       |             |         |
| ③期間工              |                        |                       |             |         |
| ④設計技術者            |                        |                       |             |         |
| ⑤研究開発人材           |                        |                       |             |         |
| ⑥ＩＴ・ＩｏＴ・ＡＩ・デジタル人材 |                        |                       |             |         |
| ⑦企画・マーケティング人材     |                        |                       |             |         |
| ⑧営業・アフターサービス人材    |                        |                       |             |         |
| ⑨その他（ ）           |                        |                       |             |         |

問 10 貴社においてＩＴの導入を進めている業務領域についてお聞きます。

|            | 導入し、期待した効果が得られた | 導入し、ある程度効果が得られた | 導入したがあまり導入効果がない | 導入したが、効果がなかった | 未導入 |
|------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|-----|
| ①財務・会計領域   |                 |                 |                 |               |     |
| ②人事・労務領域   |                 |                 |                 |               |     |
| ③販売・顧客管理領域 |                 |                 |                 |               |     |
| ④在庫管理領域    |                 |                 |                 |               |     |
| ⑤生産管理領域    |                 |                 |                 |               |     |
| ⑥受発注領域     |                 |                 |                 |               |     |
| ⑦その他（ ）    |                 |                 |                 |               |     |

問 11 貴社のＩＴの導入・利用を進める際に感じた課題についてお聞きます。該当するものにいくつでも○をつけてください。

|                          |  |
|--------------------------|--|
| ①特に課題は感じない               |  |
| ②導入効果がわからない。導入効果が評価できない。 |  |
| ③従業員が使いこなせない。            |  |
| ④コストが負担できない。             |  |
| ⑤業務内容に合ったＩＴソフトや製品がない。    |  |
| ⑥ＩＴ導入の旗振り役が務まるような人材がいない。 |  |
| ⑦外部に適切なアドバイザーがいない。       |  |
| ⑧個人情報漏えいのおそれがある。         |  |
| ⑨技術・ノウハウの流出のおそれがある。      |  |



問 12 貴社が I T 人材に望む「基礎能力」は何でしょうか。該当するものにいくつでも○をつけてください。

※「基礎能力」とは企業で働く上で必要な基礎的な力を指します。

|              |  |
|--------------|--|
| ①コミュニケーション力  |  |
| ②論理的思考力      |  |
| ③協調性・チームワーク力 |  |
| ④積極性・自発性     |  |
| ⑤リーダーシップ     |  |
| ⑥発想力・企画力     |  |
| ⑦スピード感       |  |
| ⑧ストレス耐性      |  |
| ⑨部下指導・管理能力   |  |
| ⑩柔軟性         |  |
| ⑪その他（ ）      |  |
| ⑫その他（ ）      |  |

問 13 貴社が I T 人材に望む「技術力」は何でしょうか。該当するものにいくつでも○をつけてください。

|                                               |  |
|-----------------------------------------------|--|
| ①社内を導入しているソフトウェアの使い方が社員に指導できる                 |  |
| ②コンピュータ全般について詳しく、簡単なメンテナンスができる                |  |
| ③社内ネットワークの構築・保守ができる                           |  |
| ④社内外を連携するネットワークの構築・保守ができる                     |  |
| ⑤アクセスやエクセルなどで、自社業務に合わせたマクロや簡単なプログラムが開発できる     |  |
| ⑦生産現場で得たデータの解析をして現場の生産性を向上する                  |  |
| ⑧BtoB やBtoCの、e コマースや web マーケティングサイトを構築・運営できる。 |  |
| ⑨NCの基本的なプログラミングができる。                          |  |
| ⑩CADの操作・運用ができ、使い方を社員に指導できる。                   |  |
| ⑪3Dプリンタで試作品などを作ることができる。                       |  |
| ⑫情報セキュリティ対策技術を持ち、管理ができる。                      |  |
| ⑬Iot に関する知識を持ち「スマートファクトリー」などの導入提案ができる。        |  |
| ⑭その他（ ）                                       |  |
| ⑮その他（ ）                                       |  |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 回答事業所分類

|                |    |
|----------------|----|
| 無回答            | 3  |
| 23 非鉄金属製造業     | 2  |
| 16 化学工業        | 2  |
| 18 プラスチック製品製造業 | 3  |
| 27 業務用機械器具製造業  | 3  |
| 13 家具・装備品製造業   | 6  |
| 25 はん用機械器具製造業  | 4  |
| 31 輸送用機械器具製造業  | 3  |
| 22 鉄鋼業         | 6  |
| 29 電気機械器具製造業   | 5  |
| 26 生産用機械器具製造業  | 6  |
| 32 その他の製造業     | 9  |
| 24 金属製品製造業     | 26 |

## 回答事業所所在地

|     |    |
|-----|----|
| 井原市 | 0  |
| 笠岡市 | 2  |
| 尾道市 | 10 |
| 府中市 | 13 |
| 福山市 | 53 |

## 正規社員・非正規社員

|       |      |
|-------|------|
| 正規社員  | 4835 |
| 非正規社員 | 633  |

## 正社員規模

|              |    |
|--------------|----|
| 300人以上       | 3  |
| 40人以上 299人以下 | 16 |
| 20人以上 39人以下  | 27 |
| 19人以下        | 31 |
| 無回答          | 1  |

## 生産形態

|            | 合計 | 40人～299人 | 20人～39人 | ～19人 |
|------------|----|----------|---------|------|
| 少品種大量生産    | 5  | 1        | 2       | 1    |
| 多品種少量生産    | 37 | 4        | 16      | 13   |
| 個別生産       | 28 | 4        | 9       | 13   |
| ロット(バッチ)生産 | 2  | 0        | 0       | 2    |
| 無回答        | 5  | 3        | 0       | 2    |

## 工程進捗管理

|                | 合計 | 40人～299人 | 20人～39人 | ～19人 |
|----------------|----|----------|---------|------|
| モニター画面(リアルタイム) | 12 | 4        | 5       | 1    |
| モニター画面(前日状況)   | 6  | 2        | 4       | 0    |
| ミーティングで確認      | 21 | 4        | 13      | 4    |
| 工場の巡視で把握       | 23 | 1        | 5       | 17   |
| その他            | 14 | 4        | 0       | 8    |
| 無回答            | 2  | 1        | 0       | 1    |

## 受注方法

|          | 合計 | 40 人～299 人 | 20 人～39 人 | ～19 人 |
|----------|----|------------|-----------|-------|
| メールデータ授受 | 41 | 5          | 5         | 17    |
| FAX      | 21 | 3          | 4         | 10    |
| TEL      | 2  | 1          | 13        | 1     |
| 営業部門が訪問  | 5  | 2          | 5         | 2     |
| システムで結合  | 7  | 4          | 0         | 1     |
| その他      | 1  | 0          | 0         | 0     |

## 正規社員・非正規社員 規模別

|       | 全体   | 40 人～299 人 | 20 人～39 人 | ～19 人 |
|-------|------|------------|-----------|-------|
| 正規社員  | 4835 | 1163       | 782       | 319   |
| 非正規社員 | 633  | 124        | 79        | 79    |

## 非正規社員年齢区分

|         | 全体  | 40 人～299 人 | 20 人～39 人 | ～19 人 |
|---------|-----|------------|-----------|-------|
| 19 歳以下  | 3   | 0          | 0         | 0     |
| 20～34 歳 | 85  | 23         | 16        | 2     |
| 35～49 歳 | 83  | 11         | 6         | 7     |
| 50～64 歳 | 100 | 15         | 24        | 27    |
| 65 歳以上  | 136 | 28         | 12        | 38    |
| 無回答     | 217 | 47         | 21        | 5     |

## 就職氷河期世代雇用意欲（全体）

| 全体         | 大いに可能性がある | 可能性がある | おそらく可能性がない | 可能性はない | 無回答 |
|------------|-----------|--------|------------|--------|-----|
| 正規社員期間が長い  | 33        | 24     | 6          | 4      | 11  |
| 非正規社員期間が長い | 13        | 33     | 11         | 7      | 14  |
| 無職期間が長い    | 1         | 9      | 28         | 23     | 17  |

## 就職氷河期世代雇用意欲（～19 人）

| ～19 人      | 大いに可能性がある | 可能性がある | おそらく可能性がない | 可能性はない | 無回答 |
|------------|-----------|--------|------------|--------|-----|
| 正規社員期間が長い  | 15        | 8      | 2          | 2      | 4   |
| 非正規社員期間が長い | 9         | 9      | 4          | 2      | 7   |
| 無職期間が長い    | 1         | 3      | 11         | 9      | 7   |

## 就職氷河期世代雇用意欲（20～39 人）

| ～19 人      | 大いに可能性がある | 可能性がある | おそらく可能性がない | 可能性はない | 無回答 |
|------------|-----------|--------|------------|--------|-----|
| 正規社員期間が長い  | 11        | 11     | 1          | 0      | 4   |
| 非正規社員期間が長い | 4         | 15     | 2          | 2      | 4   |
| 無職期間が長い    | 0         | 4      | 9          | 7      | 7   |

## 就職氷河期世代雇用意欲（40～299 人）

| ～19 人      | 大いに可能性がある | 可能性がある | おそらく可能性がない | 可能性はない | 無回答 |
|------------|-----------|--------|------------|--------|-----|
| 正規社員期間が長い  | 33        | 24     | 6          | 4      | 11  |
| 非正規社員期間が長い | 13        | 33     | 11         | 7      | 14  |
| 無職期間が長い    | 1         | 9      | 28         | 23     | 17  |

## 課題のある人材（全体）

| 全体               | 大きな課題で影響がある | 課題だが影響なし | 課題が顕在化 | 課題はない | 無回答 |
|------------------|-------------|----------|--------|-------|-----|
| 経営人材             | 13          | 21       | 4      | 25    | 15  |
| 技能人材             | 25          | 30       | 7      | 7     | 9   |
| 期間工              | 1           | 3        | 2      | 49    | 23  |
| 設計技術者            | 12          | 16       | 5      | 30    | 15  |
| 研究開発人材           | 7           | 17       | 2      | 34    | 18  |
| IT・IoT・AI・デジタル人材 | 3           | 21       | 8      | 28    | 18  |
| 企画・マーケティング人材     | 5           | 21       | 5      | 26    | 21  |
| 営業・アフターサービス人材    | 14          | 24       | 7      | 19    | 14  |
| その他              | 0           | 0        | 0      | 11    | 67  |

## 課題のある人材（～19 人）

| 全体               | 大きな課題で影響がある | 課題だが影響なし | 課題が顕在化 | 課題はない | 無回答 |
|------------------|-------------|----------|--------|-------|-----|
| 経営人材             | 5           | 6        | 1      | 14    | 5   |
| 技能人材             | 8           | 13       | 4      | 3     | 3   |
| 期間工              | 1           | 3        | 0      | 18    | 9   |
| 設計技術者            | 0           | 6        | 3      | 15    | 7   |
| 研究開発人材           | 1           | 5        | 0      | 17    | 8   |
| IT・IoT・AI・デジタル人材 | 1           | 8        | 0      | 14    | 8   |
| 企画・マーケティング人材     | 2           | 6        | 1      | 14    | 8   |
| 営業・アフターサービス人材    | 5           | 5        | 3      | 10    | 8   |
| その他              | 0           | 0        | 0      | 6     | 25  |

## 課題のある人材（20～39 人）

| 全体               | 大きな課題で影響がある | 課題だが影響なし | 課題が顕在化 | 課題はない | 無回答 |
|------------------|-------------|----------|--------|-------|-----|
| 経営人材             | 3           | 12       | 1      | 4     | 7   |
| 技能人材             | 10          | 10       | 1      | 2     | 4   |
| 期間工              | 0           | 0        | 2      | 15    | 10  |
| 設計技術者            | 6           | 3        | 1      | 10    | 7   |
| 研究開発人材           | 4           | 7        | 1      | 9     | 6   |
| IT・IoT・AI・デジタル人材 | 2           | 6        | 4      | 7     | 8   |
| 企画・マーケティング人材     | 3           | 7        | 3      | 6     | 8   |
| 営業・アフターサービス人材    | 6           | 11       | 1      | 4     | 5   |
| その他              | 0           | 0        | 0      | 2     | 25  |

## 課題のある人材（40～299人）

| 全体               | 大きな課題で影響がある | 課題だが影響なし | 課題が顕在化 | 課題はない | 無回答 |
|------------------|-------------|----------|--------|-------|-----|
| 経営人材             | 5           | 1        | 2      | 5     | 3   |
| 技能人材             | 7           | 6        | 1      | 0     | 2   |
| 期間工              | 0           | 0        | 0      | 12    | 4   |
| 設計技術者            | 6           | 5        | 0      | 4     | 1   |
| 研究開発人材           | 2           | 3        | 0      | 7     | 4   |
| IT・IoT・AI・デジタル人材 | 0           | 6        | 3      | 5     | 2   |
| 企画・マーケティング人材     | 0           | 6        | 1      | 4     | 5   |
| 営業・アフターサービス人材    | 3           | 7        | 1      | 4     | 1   |
| その他              | 0           | 0        | 0      | 2     | 14  |

## I T導入状況と効果（全体）

| 全体      | 期待した効果が出た | ある程度効果が出た | あまり効果がない | 効果がない | 導入 | 未導入 | 無回答 |
|---------|-----------|-----------|----------|-------|----|-----|-----|
| 財務・会計領域 | 17        | 32        | 7        | 0     | 56 | 14  | 8   |
| 人事・労務領域 | 3         | 20        | 4        | 2     | 29 | 34  | 15  |
| 販売・顧客領域 | 11        | 19        | 5        | 2     | 37 | 28  | 13  |
| 在庫管理領域  | 9         | 6         | 7        | 2     | 24 | 36  | 18  |
| 生産管理領域  | 8         | 12        | 5        | 2     | 27 | 37  | 14  |
| 受注管理領域  | 12        | 17        | 6        | 2     | 37 | 26  | 15  |
| その他     | 0         | 0         | 0        | 2     | 2  | 6   | 70  |

## I T導入状況と効果（～19人）

| 全体      | 期待した効果が出た | ある程度効果が出た | あまり効果がない | 効果がない | 導入 | 未導入 | 無回答 |
|---------|-----------|-----------|----------|-------|----|-----|-----|
| 財務・会計領域 | 7         | 14        | 2        | 0     | 23 | 7   | 1   |
| 人事・労務領域 | 0         | 3         | 1        | 2     | 6  | 20  | 5   |
| 販売・顧客領域 | 4         | 4         | 2        | 2     | 12 | 15  | 4   |
| 在庫管理領域  | 1         | 0         | 2        | 2     | 5  | 19  | 7   |
| 生産管理領域  | 1         | 5         | 0        | 2     | 8  | 19  | 4   |
| 受注管理領域  | 2         | 5         | 3        | 2     | 12 | 13  | 6   |
| その他     | 0         | 0         | 0        | 2     | 2  | 5   | 24  |

## I T導入状況と効果（20～39人）

| 全体      | 期待した効果が出た | ある程度効果が出た | あまり効果がない | 効果がない | 導入 | 未導入 | 無回答 |
|---------|-----------|-----------|----------|-------|----|-----|-----|
| 財務・会計領域 | 4         | 11        | 1        | 0     | 16 | 4   | 7   |
| 人事・労務領域 | 0         | 9         | 1        | 0     | 10 | 7   | 10  |
| 販売・顧客領域 | 5         | 10        | 1        | 0     | 16 | 4   | 7   |
| 在庫管理領域  | 5         | 2         | 3        | 0     | 10 | 8   | 9   |
| 生産管理領域  | 3         | 1         | 3        | 0     | 7  | 11  | 9   |
| 受注管理領域  | 3         | 5         | 3        | 0     | 11 | 9   | 7   |
| 7 その他   | 0         | 0         | 0        | 0     | 0  | 0   | 27  |

## I T導入状況と効果（40～299人）

| 全体      | 期待した効果が出た | ある程度効果が出た | あまり効果がない | 効果がない | 導入 | 未導入 | 無回答 |
|---------|-----------|-----------|----------|-------|----|-----|-----|
| 財務・会計領域 | 5         | 5         | 4        | 0     | 14 | 2   | 0   |
| 人事・労務領域 | 2         | 6         | 2        | 0     | 10 | 6   | 0   |
| 販売・顧客領域 | 1         | 3         | 2        | 0     | 6  | 8   | 2   |
| 在庫管理領域  | 1         | 3         | 2        | 0     | 6  | 8   | 2   |
| 生産管理領域  | 3         | 5         | 2        | 0     | 10 | 5   | 1   |
| 受注管理領域  | 5         | 6         | 0        | 0     | 11 | 3   | 2   |
| 7 その他   | 0         | 0         | 0        | 0     | 0  | 1   | 15  |

## I T導入時の課題

| 項目                | 全体 | ～19 | 20～39 | 40～299 |
|-------------------|----|-----|-------|--------|
| 課題なし              | 15 | 0   | 6     | 2      |
| 課題あり              | 63 | 31  | 21    | 14     |
| 導入効果がわからない・評価できない | 14 | 10  | 3     | 1      |
| 従業員が使いこなせない       | 21 | 8   | 4     | 9      |
| コストが負担できない        | 20 | 9   | 7     | 3      |
| 業務内容に合うソフト・製品がない  | 18 | 10  | 4     | 2      |
| 導入の旗振り役人材がいない     | 21 | 8   | 5     | 6      |
| 外部にアドバイザーがいない     | 5  | 2   | 3     | 0      |
| 情報漏洩の危機           | 10 | 7   | 2     | 1      |
| 技術・ノウハウの漏洩        | 9  | 3   | 2     | 3      |



## I T人材に望む基礎能力

| 項目          | 全体 | ～19 | 20～39 | 40～299 |
|-------------|----|-----|-------|--------|
| コミュニケーション力  | 48 | 16  | 16    | 14     |
| 理論的思考力      | 36 | 8   | 14    | 10     |
| 協調性・チームワーク力 | 45 | 15  | 19    | 9      |
| 積極性・自発性     | 29 | 5   | 14    | 8      |
| リーダーシップ     | 10 | 2   | 5     | 2      |
| 発想力・企画力     | 37 | 12  | 13    | 8      |
| スピード感       | 41 | 10  | 14    | 14     |
| ストレス耐性      | 22 | 8   | 7     | 4      |
| 部下指導・管理能力   | 17 | 5   | 8     | 3      |
| 柔軟性         | 38 | 16  | 11    | 10     |
| その他         | 4  | 2   | 0     | 2      |

## I T人材に望む技術力

| 項目                       | 全体 | ～19 | 20～39 | 40～299 |
|--------------------------|----|-----|-------|--------|
| ソフトウェア使用の指導              | 36 | 8   | 15    | 12     |
| コンピュータ全般知識とメンテナンス        | 43 | 14  | 14    | 12     |
| 社内ネットワークの構築・保守           | 33 | 9   | 11    | 10     |
| 社内外連携ネットワークの構築・保守        | 26 | 7   | 9     | 8      |
| Access・Excel マクロ・プログラミング | 27 | 10  | 4     | 11     |
| 生産現場データの解析から生産性を向上       | 37 | 12  | 13    | 11     |
| e コマース・Web サイト構築・運営      | 11 | 2   | 3     | 4      |
| NC の基本的なプログラミング          | 17 | 6   | 5     | 5      |
| CAD の操作・運用かつ使い方指導        | 28 | 11  | 8     | 8      |
| 3D プリンタで試作品の作成           | 8  | 1   | 0     | 5      |
| 情報セキュリティ対策技術かつ管理         | 21 | 5   | 5     | 8      |
| lot/スマートファクトリー導入提案       | 10 | 3   | 0     | 6      |
| その他                      | 2  | 0   | 0     | 0      |

## 視察訪問レポート

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名     | ものづくりIT人材育成のためのリスタートプログラム開発事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ヒアリング先  | 株式会社栄工社                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 場所      | 広島県福山市浜松町4丁目5番15号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 日時      | 令和2年12月10日（木）14：00～15：30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ヒアリング担当 | 松浦 生幸                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 調査種別    | ヒアリング                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 内容      | <p>■ヒヤリング（アンケートをもとにヒアリング）</p> <p>・電気機器器具・油空圧機器などの工業製品製作を手掛けている。<br/> 正職員●●名、非正規職員●●名を雇用している。<br/> 非正規職員は全員女性であり、雇用期間が5年超えた場合正社員登用制度があるが現在登用者はいない<br/> パート職員全員がパート形態の雇用を希望している。<br/> 就職氷河期世代はうち●●名となるが、正社員のほうがこの世代は多い。<br/> 非正規職員期間が長い場合はコミュニケーションに問題があるのではないかと疑問がつくので正社員雇用<br/> は難しいかもしれない。特に無職期間が長いと難しい。<br/> 文系理系は問わないが能力があれば非正規雇用でなく正社員として雇用したいと思っている。<br/> コロナが収束する時期になることを予測すると設計技術者が不足ぎみになるかもしれないので今のうちに確保<br/> いというのが本音。<br/> 社員研修はOJTが中心で、実務をしながら指導していくというスタイル。これは個別生産形態をとっているため<br/> 非正規雇用者へのリカレント教育であるが、弊社としては難しい状況。<br/> 正社員でも若手への教育であれば参加したいところ。<br/> 事業計画書のリカレント科目については妥当なところではないかと思う。ただし、通信でなければ参加は<br/> できないという会社が大多数ではないかと思う。<br/> 科目の内容や講義形態（通信を採用）を見直し、再度提案し、その際参加を検討してもらうことになっ<br/> た。</p> <p>■製造現場見学（電気機器器具製造、油空圧機器製造、板金加工作業現場）<br/> 企業機密のため写真はNG。</p> |

## 視察訪問レポート

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名     | ものづくりIT人材育成のためのリスタートプログラム開発事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| ヒアリング先  | ペアコム株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 場所      | 広島県福山市駅家町倉光134-1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 日時      | 令和2年12月11日（金）11：00～12：00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| ヒアリング担当 | 松浦 生幸                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 調査種別    | ヒアリング                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 内容      | <p>■ヒヤリング（アンケートをもとにヒアリング）</p> <p>・漏電ブレーカーの電子回路製造、制御盤組み立て、LED照明器具製造等を手掛けている。<br/> 正職員●●名、非正規職員●●名。<br/> 非正規職員はほぼ全員女性であり、受注増があれば採用している状況。<br/> 正社員の多くが氷河期世代だと思う。<br/> 企画・営業の人材が不足しているので、今後社員育成により企画・営業ができる人材を育てたい。<br/> 別途他から雇用することは考えていない。<br/> また、HPなど販促物デザイン作成等のスキルアップが図ればよいと感じている。<br/> 社内研修は定期には実施していない。ほぼ外部の研修制度を利用しているためコストがかかるのでその点が<br/> 弊社は非正規雇用者が多いため、本事業のリカレント教育が次年度できるのあればぜひ参加させたい。</p> <p>今後の雇用する人材の条件については特にない。むしろ無職の期間が長い方でも素直に仕事をもらえる<br/> のであれば歓迎する。<br/> 本事業のリカレント教育期間も弊社としては長ければ長いほどスキルもしっかり身につくという考えなので<br/> 200時間以上はほしいところ。また、通信でも通学でもいいが、なるべく通信を増やしていただけると助かる。</p> <p>リカレント教育プログラムができれば案内することになった。</p> |

## 視察訪問レポート

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名     | ものづくりIT人材育成のためのリスタートプログラム開発事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| ヒアリング先  | キャステム株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 場所      | 広島県福山市御幸町大字中津原1808-2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 日時      | 令和2年12月15日（火）13：00～14：00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| ヒアリング担当 | 松浦 生幸                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 調査種別    | ヒアリング                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 内容      | <p>■ヒヤリング（アンケートをもとにヒアリング）</p> <p>・金属製品製造業種で、ロストワックス精密鑄造部品・セラミック射出焼結部品、金属射出焼結部品、FRP射出成品の製造、自動車・電気用プレス・モールド金型部品製作、ロストワックス製部品精密加工等を手掛けている。</p> <p>正職員●●名、非正規職員●●名。</p> <p>非正規職員はほぼ派遣社員で、男性が6割、女性が3割。</p> <p>正社員は若い世代が多く、氷河期世代はほぼいない状況。</p> <p>9割強が地元採用であり、新卒採用に力を入れているので非正規職員は派遣以外採用していない。</p> <p>IT人材は必要であるが、社内研修も充実しているのである程度知識がある方であれば採用後人材育成を研修で行うので現時点では問題ない。</p> <p>リカレント教育プログラムの内容については学びたいという非正規社員（派遣）いると思うが、会社から派遣社員の方に時間を割いて学ばせるということは考えていない。</p> <p>派遣社員はいずれ期間満了で退社することが予測できるため。</p> |

## 視察訪問レポート

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名     | ものづくりIT人材育成のためのリスタートプログラム開発事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| ヒアリング先  | 入栄工業株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 場所      | 岡山県井原市笹賀町1572-8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 日時      | 令和3年1月28（木）14：00～15：00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ヒアリング担当 | 松浦 生幸                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 調査種別    | ヒアリング                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 内容      | <p>■ヒアリング（アンケートをもとにヒアリング）</p> <p>・鉄鋼専業メーカーとして設計・作図・鉄骨製作を手掛けている。<br/>非正規社員は●●名。</p> <p>不足している人材は営業、設計、技能人材が中心。前職で正社員期間がながく現在無職の方であれば雇用を考えるが、前職が製造業でなく無職期間が長い方については正直難しい。</p> <p>不足している人材は上記述べた人材が中心だが、コミュニケーションがとれる方が望ましい。</p> <p>事業計画書にプログラム案があるがコミュニケーションの授業があるのでありがたいと思う。</p> <p>しかし、NCプログラミングやeコマースなどは当社は不要なのでニーズはない。さらに言えばCAD系講座を増やしたりPCスキル講座の授業時間を増やすほうが人材育成にはよいのではというご意見を頂戴した。</p> <p>プログラムの中で職場見学が入っているが、受講生の中で無職の方であれば見学の受入れは歓迎するが、他社で働いている従業員であればノウハウが盗まれる危険性も多少なりともあるかもしれないのでNG。</p> <p>このプログラムが正社員も参加できるのであれば参加を促したい。</p> <p>できる限りの協力をいただけることになった。</p> <p>■製造現場見学（建造物の鉄骨造柱はり製造）</p>  |

## 視察訪問レポート

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名     | ものづくりIT人材育成のためのリスタートプログラム開発事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| ヒアリング先  | 株式会社ワイザーリンクージ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 場所      | 〒720-2124 広島県福山市神辺町川南557                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 日時      | 令和3年1月29（金）16：00～17：00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| ヒアリング担当 | 松浦 生幸                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 調査種別    | ヒアリング                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 内容      | <p>■ヒヤリング（アンケートをもとにヒアリング）</p> <p>・樹脂・プラスチックの販売及び加工、看板資材の販売を手掛けている。<br/> 非正規社員は●●名いるが、ほとんど男性パートアルバイトが中心。<br/> 不足している人材は営業、技能人材で現在求人を出している状況。<br/> 前職が製造業種で勤務している方であれば採用の可能性がある。<br/> 不足している人材は上記述べた人材が中心だが、コミュニケーションがとれる方が望ましい。<br/> 当事業のプログラムに非正規雇用者が参加することは可能かを聞いたところそれは難しいとのこと。<br/> また、職場見学についても社内機密事項も多いため、採用可能性がある方でなければ見学も難しいとのこと。<br/> 当事業のプログラムに参加した方で希望があれば採用は可能かを聞いたところ本人によるがそれは可能ということなので、今後も情報提供をすることを約束した。</p> |